資料編

資料編について

２－１．および３．の取りまとめに係る各種データについて

ここでは「資料編」として、「２－１　宮前区全体と周辺エリアの立地特性等」及び「３．これまでの市民参加による検討について」を取りまとめる際に用いた各種資料について掲載します。

【資料編】の構成

１　宮前区全体と周辺エリアの立地特性等

（１）宮前区の概況
①宮前区の地勢
②市街地の成り立ち
③宮前区の人口（人口推移）
④宮前区の人口（将来人口推計）
⑤宮前区の人口（昼夜間人口比率）
⑥宮前区の人口（社会動態）
⑦宮前区の人口（年少人口と高齢人口の分布）
（２）周辺エリアの概況
①周辺エリアの地勢
②周辺エリアの土地利用状況
③周辺エリアの人口密度
④周辺エリアの人口構成（周辺の町の人口構成）
⑤周辺エリアの人口構成（隣接町丁目の人口構成）
（３）当該地の概況
①敷地の状況
②敷地における地域地区等
③建築物の状況

２　これまでの市民参加による検討

（１）区民意識アンケート調査
（２）市民検討ワークショップ

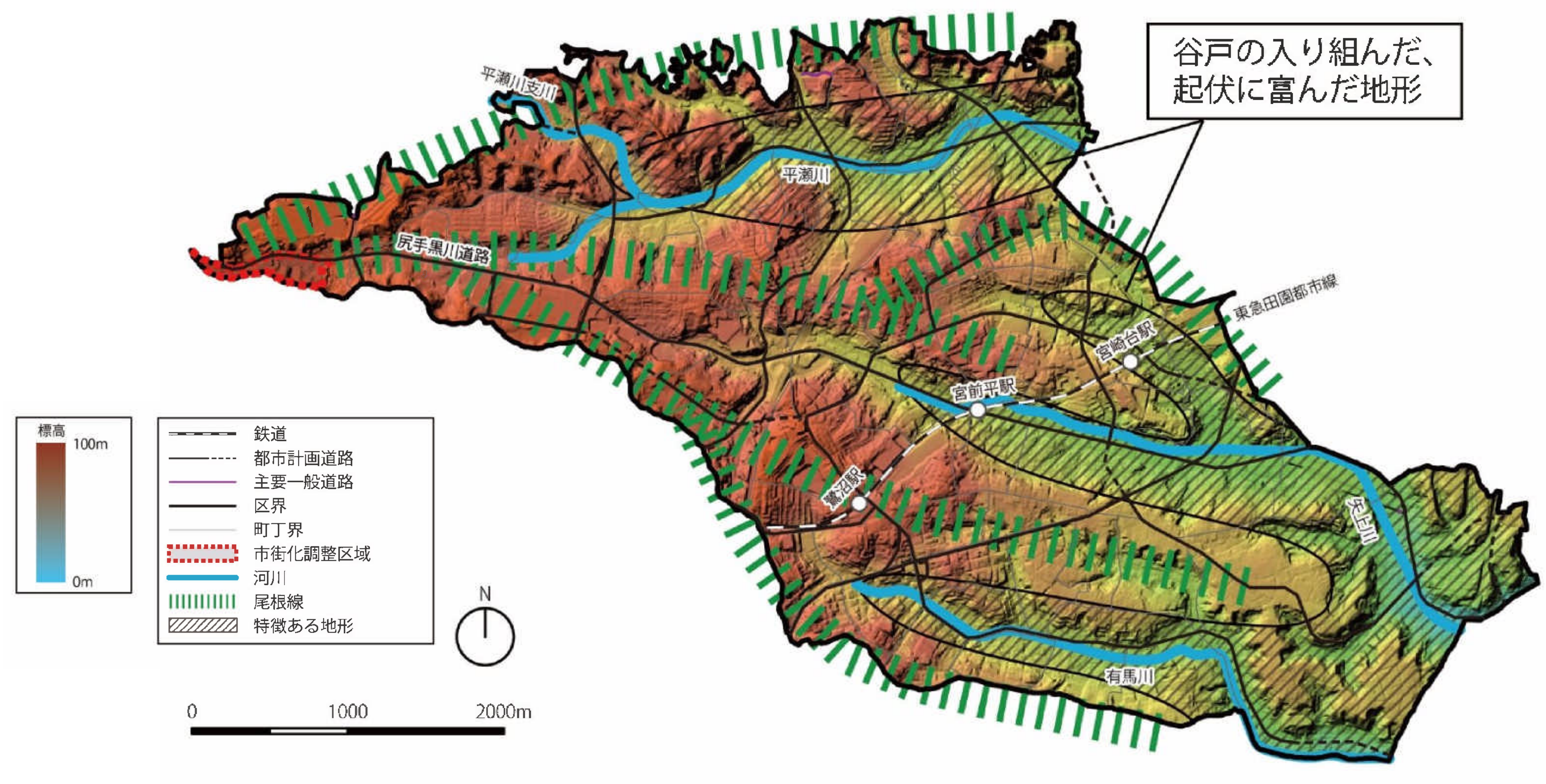
宮前区の概況

1　宮前区全体と周辺エリアの立地特性等

（1）宮前区の概況

①宮前区の地勢

- 宮前区は本市の北西部、多摩丘陵の一角に位置し、区内には平瀬川、平瀬川支川、矢上川、有馬川の４つの河川が流れています。これらの川に挟まれて、丘陵、坂、谷戸などで構成された起伏に富んだ地形が特徴です。



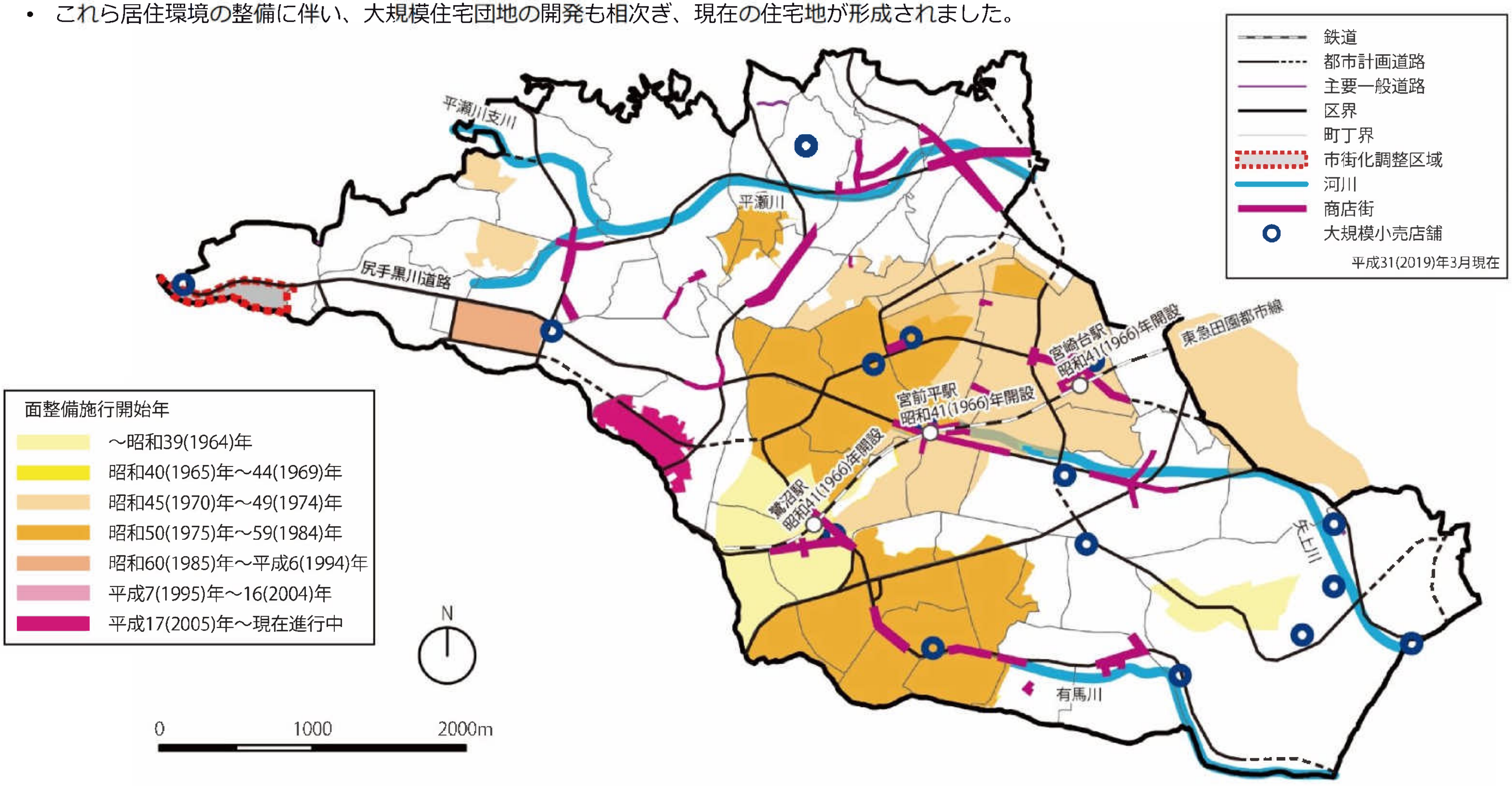
図表：標高図

出典：川崎市都市計画マスタープラン宮前区構想

宮前区の概況

②市街地の成り立ち

- 昭和30年代の高度成長期以降、拡大を続ける東京圏の市街化の進展が宮前区にも広がり、昭和41（1966）年には大井町線（現在の東急田園都市線）が溝の口駅から長津田駅まで延伸し、区内に宮崎台、宮前平、鷺沼の３駅が誕生しました。
- 鉄道の延伸などに併せて、昭和30年代以降、野川地区、有馬、土橋地区、宮崎地区などで土地区画整理事業が開始され、本格的な都市化が進展しました。
- これら居住環境の整備に伴い、大規模住宅団地の開発も相次ぎ、現在の住宅地が形成されました。



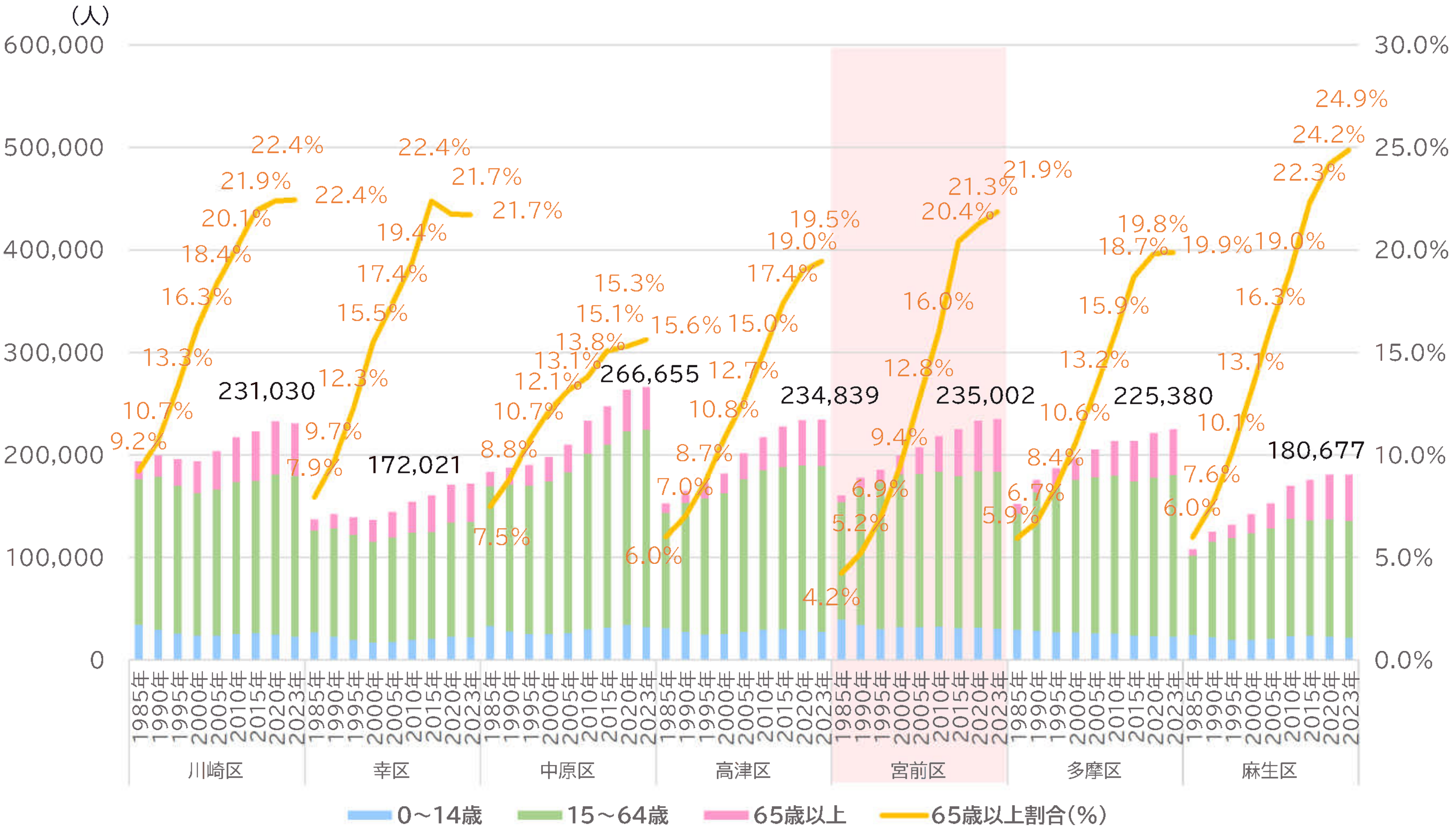
図表：市街地の変遷

出典：川崎市都市計画マスタープラン宮前区構想

宮前区の概況

③宮前区の人口（人口推移）

- 宮前区の人口は、令和5（2023）年には約23.5万人となっており、高津区から分区した昭和57（1982）年の約15万人から約50%増加しています。
- 65歳以上の割合である高齢化率は、令和5（2023）年には約21.9%となっており、7区のうちでは麻生区、川崎区に次いで３番目に高い割合であり、昭和60（1985）年の約4.2%から急激に増加していることがわかります。



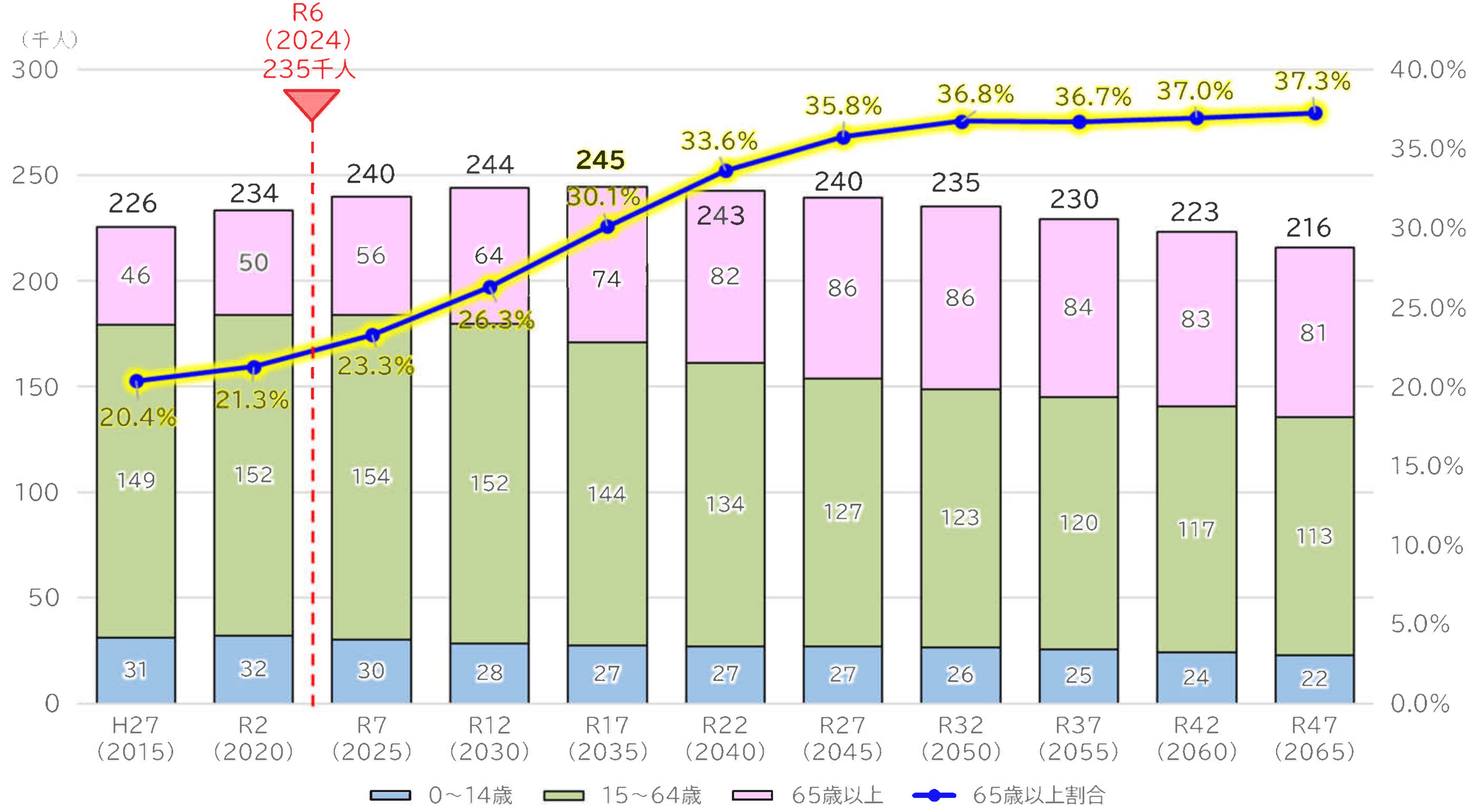
図表：区別年齢３区分別人口推移と高齢化率の推移（昭和60（1985）年～令和５（2023）年　各年10月１日現在）

資料：昭和60（1985）年～令和２（2020）年は「国勢調査結果」、令和５（2023）年は「令和5（2023）年　年齢別人口」をもとに作成

宮前区の概況

④宮前区の人口（将来人口推計）

- 将来人口推計では、令和17（2035）年の約24.5万人をピークとして人口減少へ転換することが見込まれています。
- 約20年後の令和27（2045）年の人口は約24万人と、令和２（2020）年を上回る水準を維持しますが、年齢別の内訳を見ると、65歳以上の高齢人口が約５万人から約8.6万人へと増加することが予測されています。
- 15～64歳の生産年齢人口は令和７（2025）年に、15歳未満の年少人口は令和２（2020）年に、それぞれピークを迎え、その後は減少し続けることが見込まれています。



図表：宮前区の将来人口推計

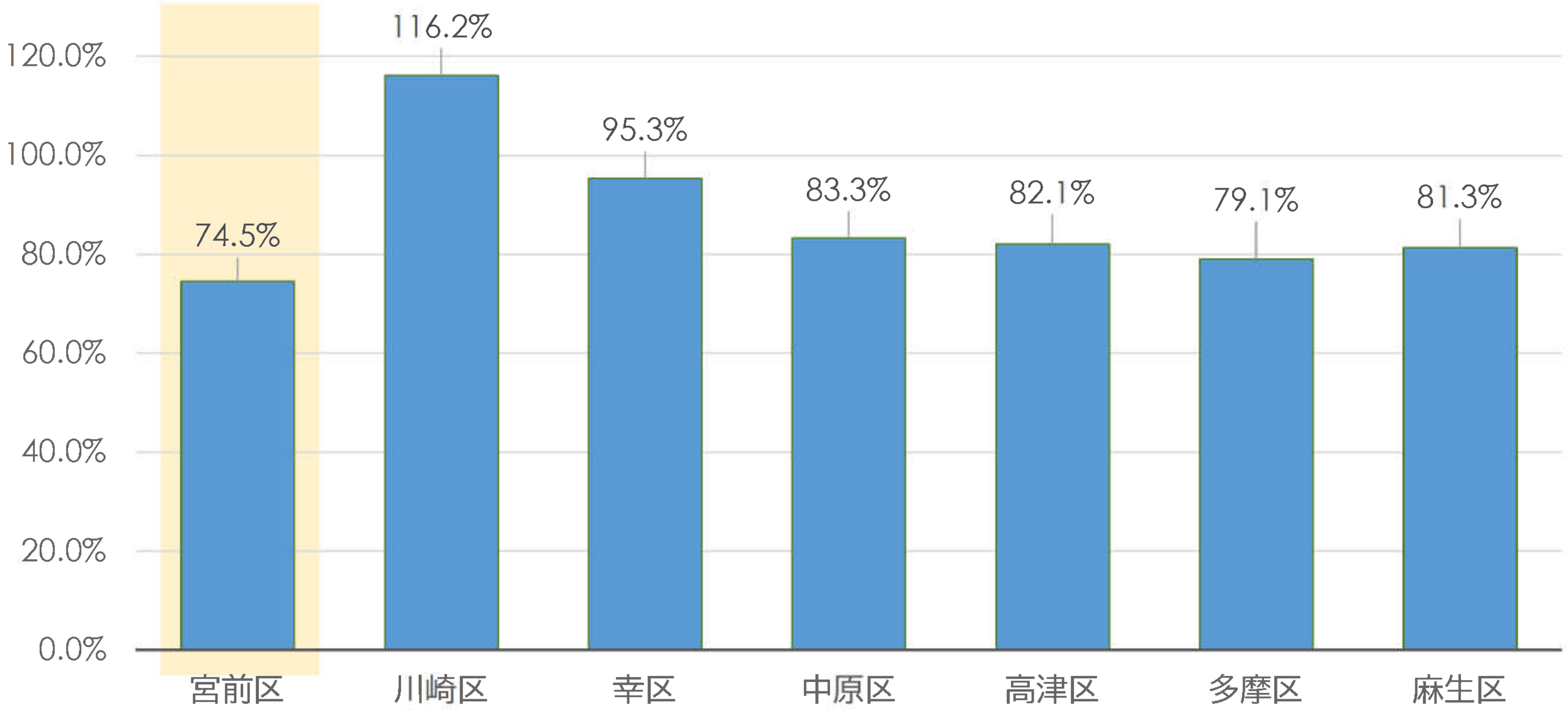
資料：「川崎市総合計画　第3期実施計画の策定に向けた将来人口推計（更新版）」、令和６（2024）年は『川崎市の世帯数・人口』をもとに作成

⑤宮前区の人口（昼夜間人口比率）

- 本市の昼夜間人口比率は川崎区に次いで幸区が高く、中原区・高津区・多摩区・麻生区は同水準となっており、宮前区は７区の内で最も低くなっています。
- これは日中は通勤・通学等で区外に移動する区民や、買い物などで区外に移動する区民が多く、夜間よりも昼間の方が人が少ない、いわゆるベッドタウン的な性質があることを表しています。

昼夜間人口比率とは

常住人口（その地域に住んでいる人の数）である夜間人口に対する、従業地・通学地等による人口を川崎市独自に推計した昼間人口の割合のこと。この割合が低いほど、日中の住民の流出が多く、ベッドタウン的な性質が強くなる。



図表：各区の昼夜間人口比率

資料：「令和２年国勢調査結果」をもとに作成

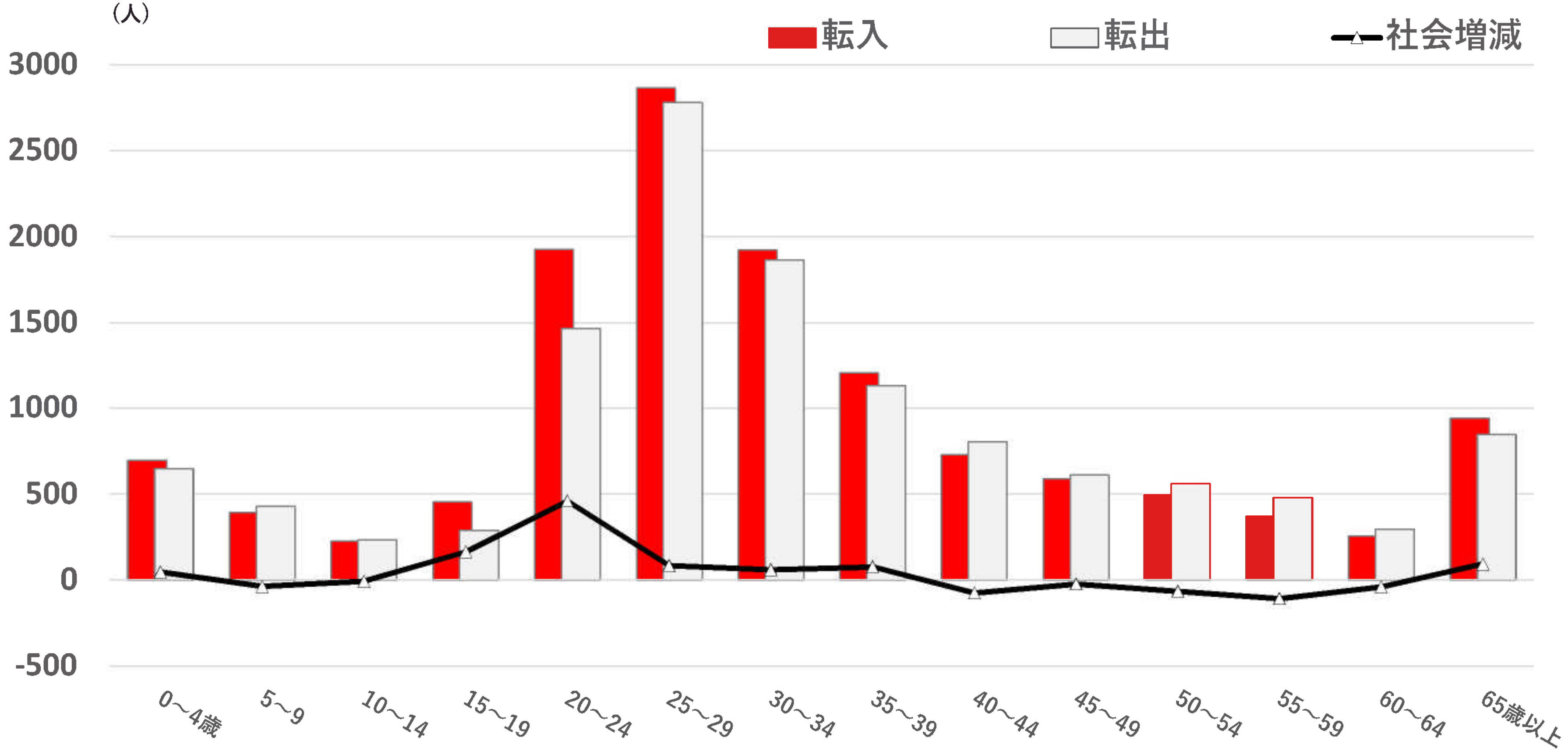
宮前区の概況

⑥宮前区の人口（社会動態）

- ５歳階級別の社会動態を見ると、転入転出ともに20～34歳の３階層が多く、特に25～29歳が最も多い階層となっています。
- 15～24歳の２階層で、転入が転出を比較的大きく上回っています。
- 15～39歳の５階層で転入が転出を上回っている一方で、40～64歳の５階層では転出が転入を上回り、65歳以上の階層では転入が転出を上回っています。

社会動態とは

転入と転出に伴う人口の動きのことで、転入数が転出数よりも大きいと転入超過となり「社会増」が起こり、その逆のときには転出超過となり「社会減」が起こる。

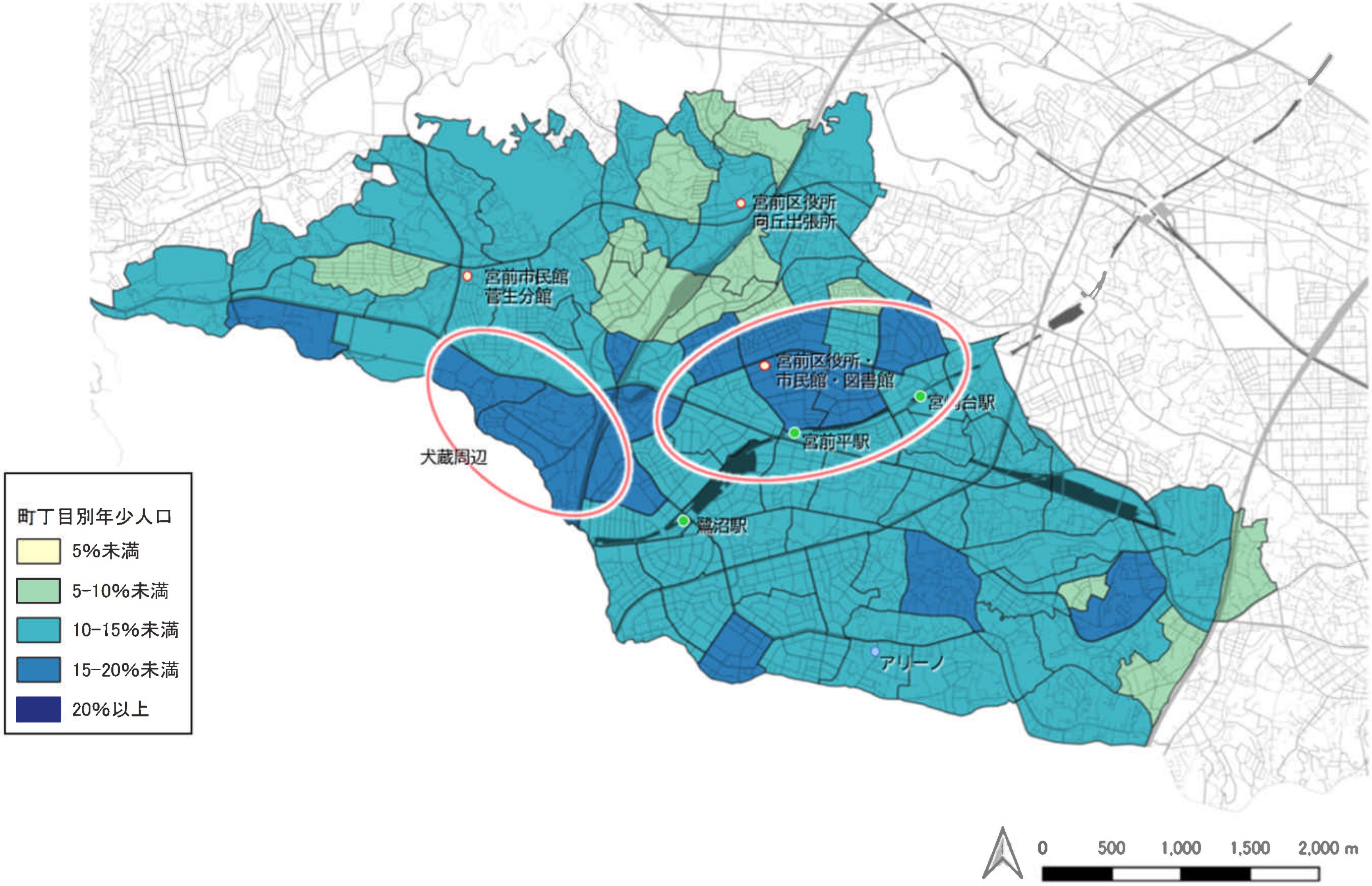


図表：年齢５歳階級別社会動態

資料：「川崎市の人口動態（令和５（2023）年）」をもとに作成

⑦－１　宮前区の人口（年少人口分布）

- 町丁目別の人口分布を見ると、年少人口（15歳未満）については、主に田園都市線の北側のエリアにおいて割合が高くなっています。
- 現区役所等周辺エリアの他、犬蔵周辺エリアにおいても年少人口割合が高いことが分かります。



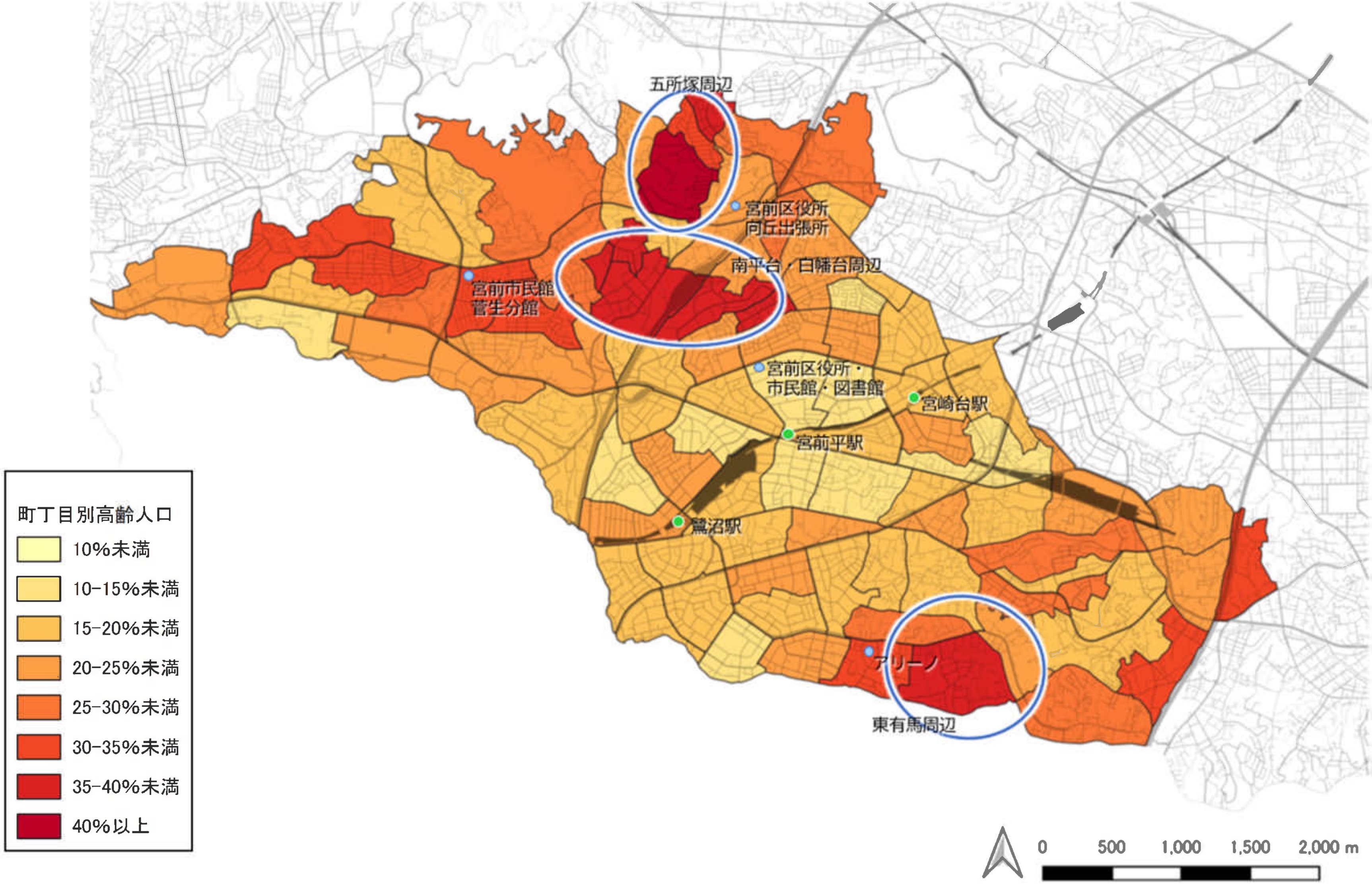
図表：町丁目別年少人口分布図

資料：「令和６（2024）年　町丁別年齢別人口」をもとに作成

宮前区の概況

⑦－２　宮前区の人口（高齢人口分布）

- 高齢人口（65歳以上）については、田園都市線沿線から離れた地域において、その割合が高くなっています。
- 区の北部では南平台や白幡台、五所塚周辺の割合が高く、区の南部では東有馬周辺が高くなっています。



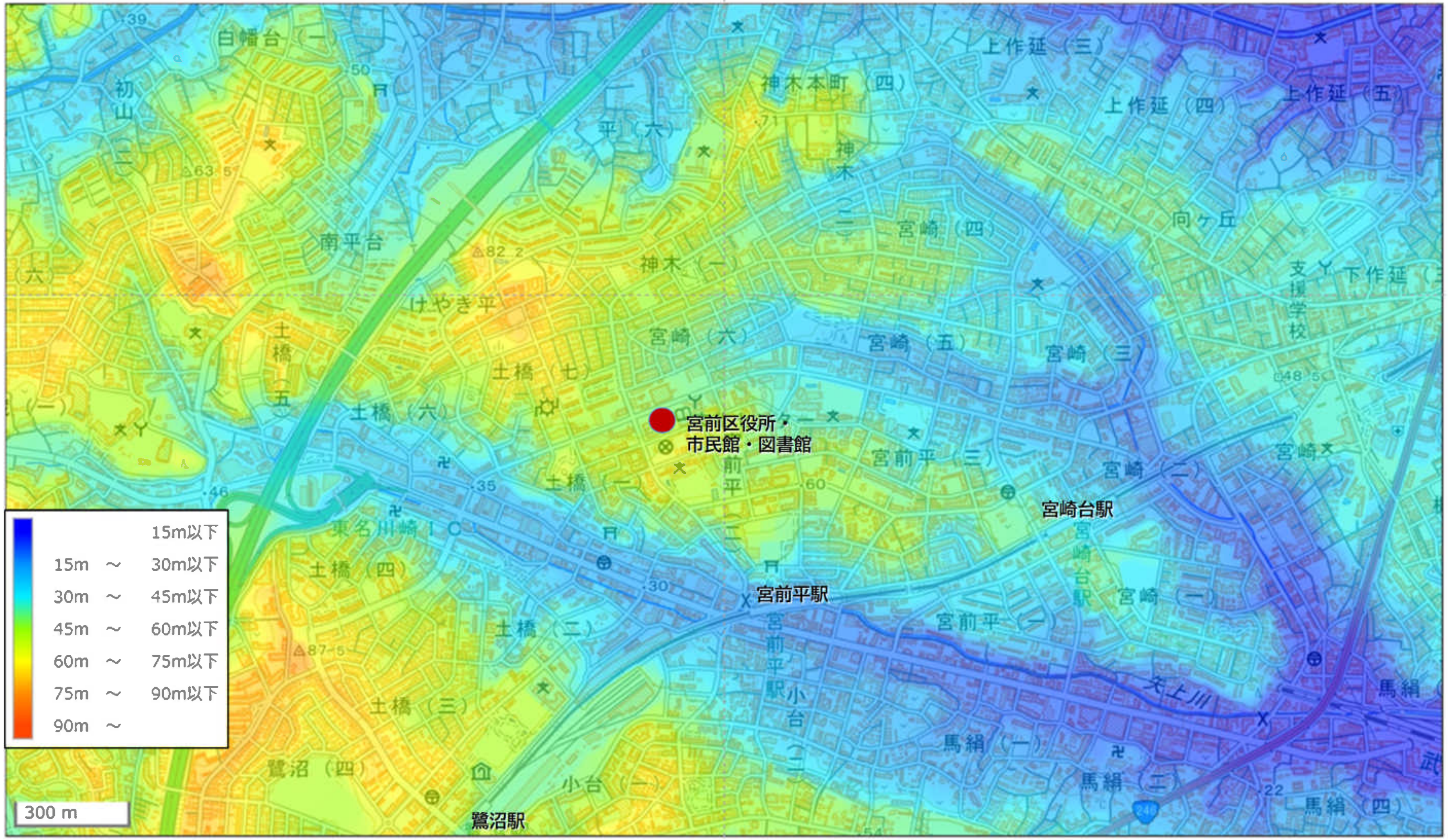
図表：町丁目別高齢人口分布図

資料：「令和６（2024）年　町丁別年齢別人口」をもとに作成

（２）周辺エリアの概況

①周辺エリアの地勢

- 現区役所等は尾根線沿いに位置しており、標高は約60ｍとなっています。また、最寄りの宮前平駅は谷戸に位置しており、現区役所等とは約30ｍの高低差があります。
- 鷺沼駅も同様の標高に位置しているものの、現区役所等とのアクセスの際には谷戸を経由する必要があります。



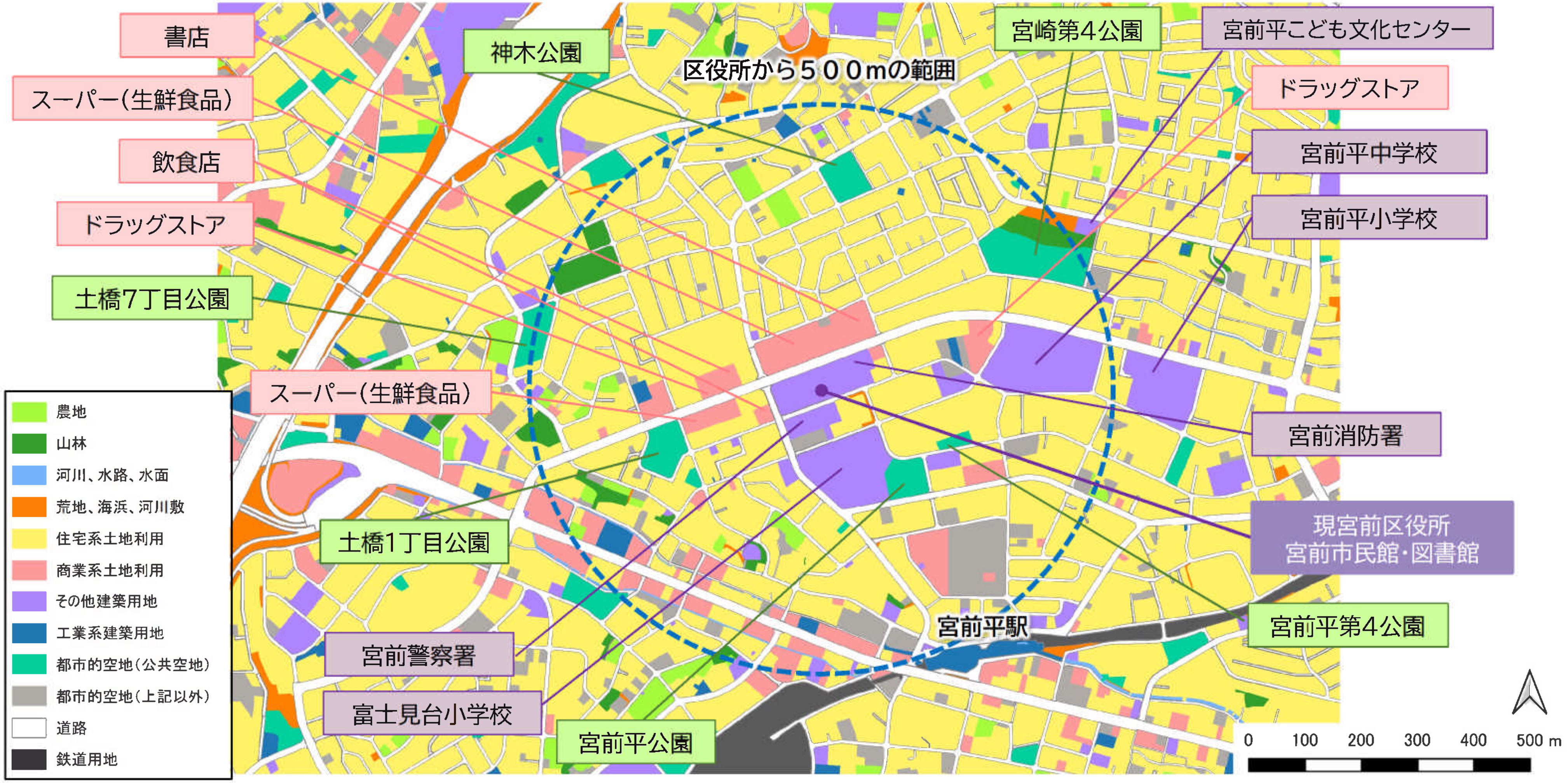
図表：周辺エリア地勢図

出典：地理院タイル（色別標高図）を加工

周辺エリアの概況

②周辺エリアの土地利用状況

- 現区役所等周辺エリアは、宮前平駅周辺も含め、主に住宅地によって形成されているほか、幹線道路沿いにはスーパー（生鮮食品）・飲食店・ドラッグストアなど、地域住民の生活に密着した商業施設が見られます。
- また、市街地の成り立ちから、小・中学校や消防署、警察署などの公共施設が計画的に配置されています。
- 周辺エリアには比較的規模の大きい宮崎第４公園を始めとした公園のほか、農地としての利用も確認できます。

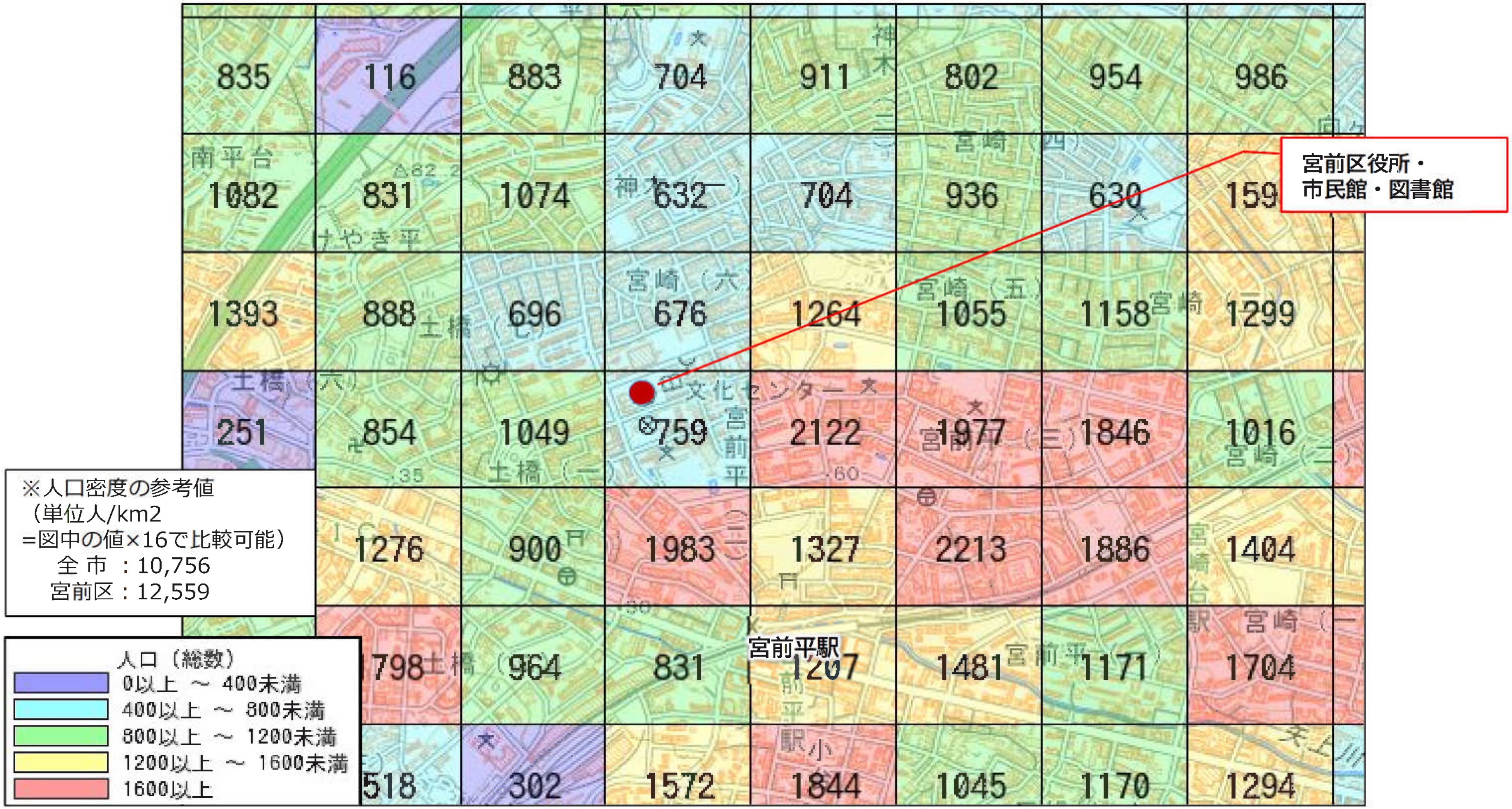


図表：周辺エリアの土地利用状況　　資料：令和２（2020）年度「都市計画基礎調査」をもとに作成

周辺エリアの概況

③周辺エリアの人口密度

- 周辺エリアの人口密度（250mメッシュ）を見ると、田園都市線沿線の人口密度が高い傾向にあり、現区役所等の南側（宮前平駅との間）の地域は、現区役所等の北側の地域と比べて３倍程度の人口密度となっています。



図表：250mメッシュの人口密度

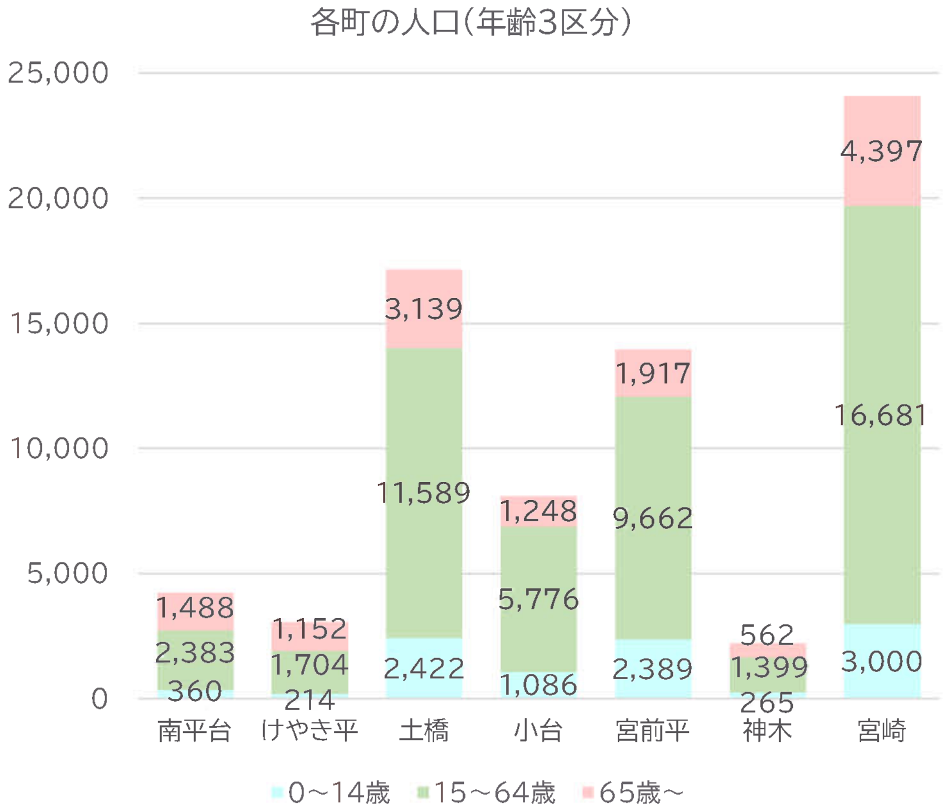
資料：「令和２年国勢調査結果」をもとに作成

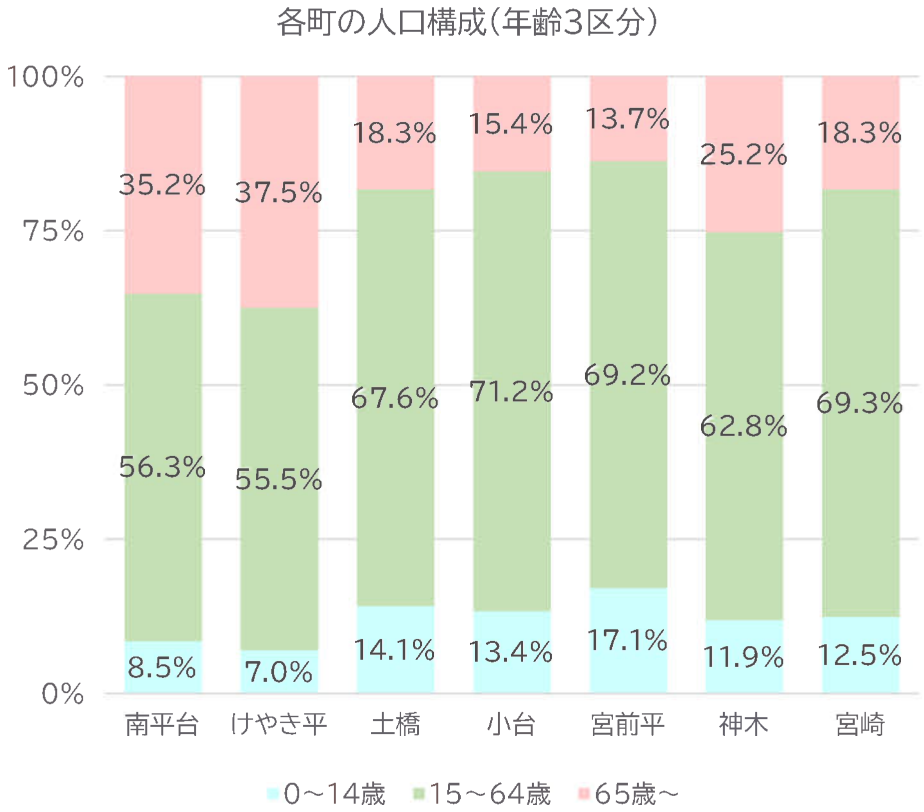
周辺エリアの概況

④周辺エリアの人口構成（周辺の町の人口構成）

- 現宮前区役所等の周辺の町の人口構成を見ると、年少人口（15歳未満）比率が高い順に宮前平、土橋、小台となっており、これらの町はすべて田園都市線沿線に接しています。
- 一方で、高齢人口（65歳以上）比率が高い順位にけやき平、南平台、神木となっており、これらの町は他の町に比べて、田園都市線沿線から比較的遠い場所にあることが分かります。

資料：現宮前区役所等施設・用地の活用に向けた区民意識アンケート調査結果を加工





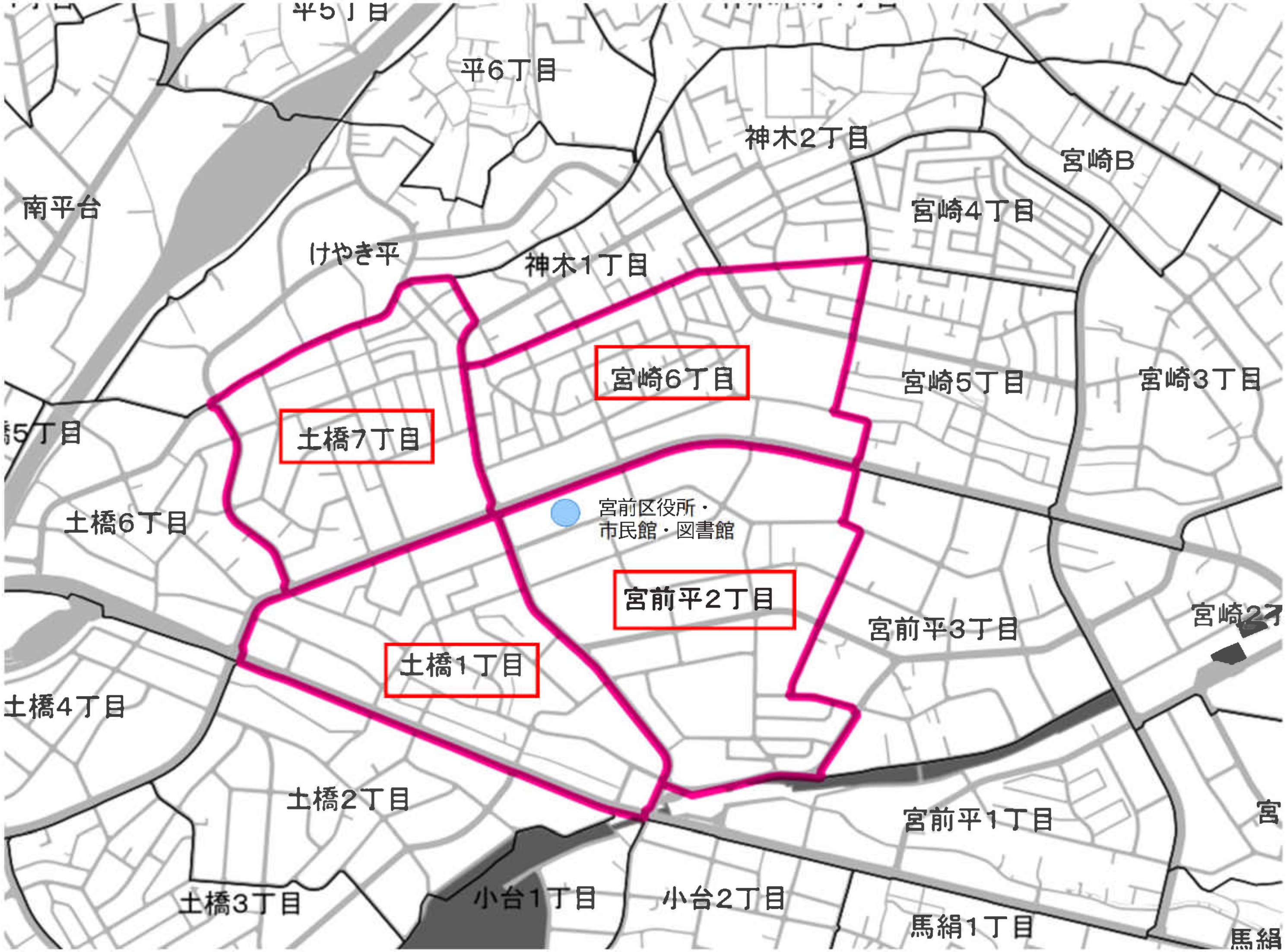
図表：周辺エリアの人口構成

資料：「令和６年町丁別世帯数・人口　９月末日現在」をもとに作成

周辺エリアの概況

⑤周辺エリアの人口構成（隣接町丁目の人口構成）

- 現宮前区役所等に隣接する町丁目（宮前平２丁目、宮崎６丁目、土橋１丁目、土橋７丁目）は次のとおりです。

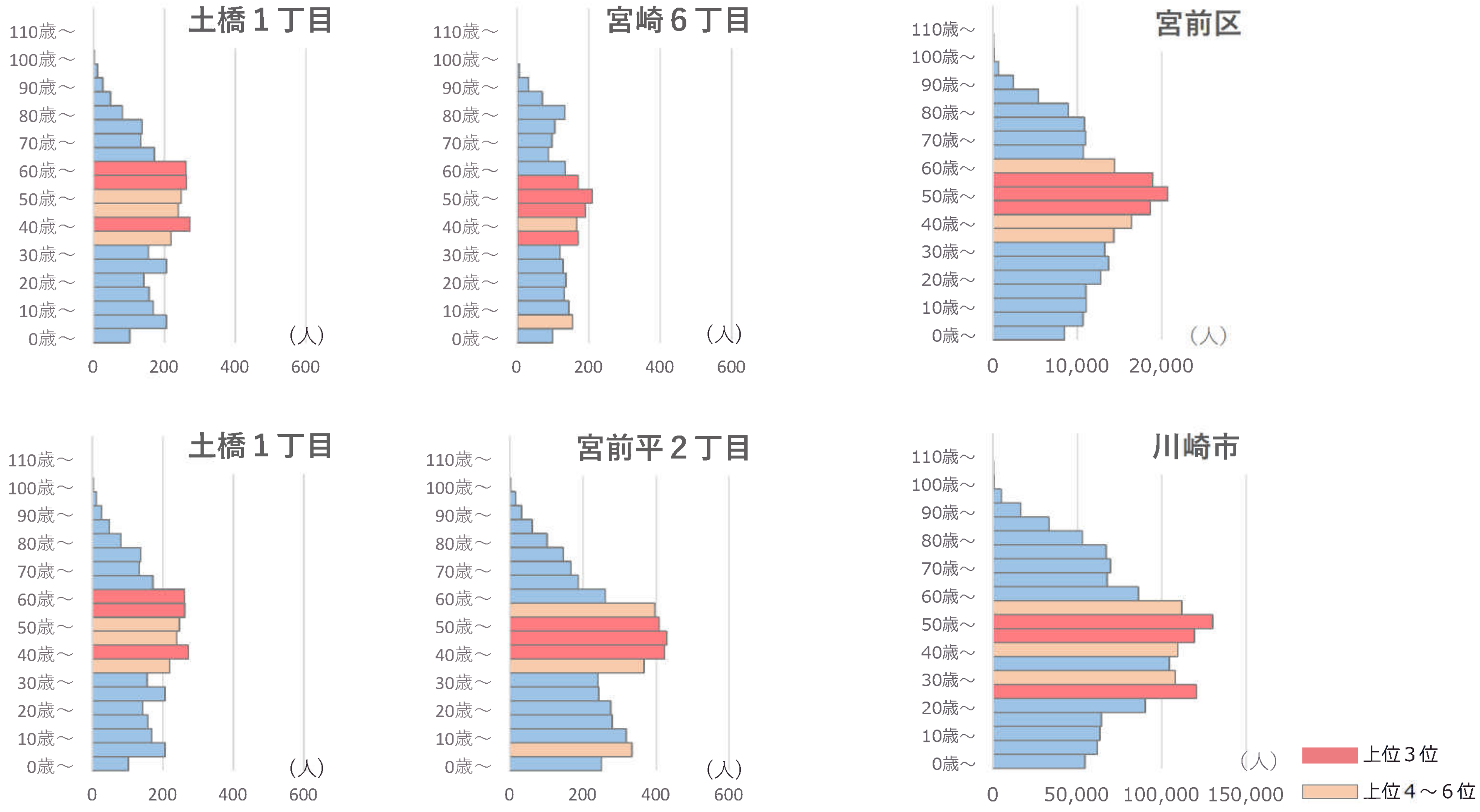


図表：隣接する町丁目

資料：令和２（2020）年度「都市計画基礎調査」をもとに作成

周辺エリアの概況

- 周辺エリアのどの町丁目でも、40歳台～50歳台の人口比率が高い傾向は川崎市及び宮前区全体と共通していますが、10歳台までの人口比率が20歳台～30歳台の人口比率よりも高い傾向に特徴があります。
- また、現区役所等の北側に位置する宮崎６丁目については、70歳台～80歳台の人口比率が60歳台と比べて高いという特徴があります。



図表：隣接町丁目の人口構成

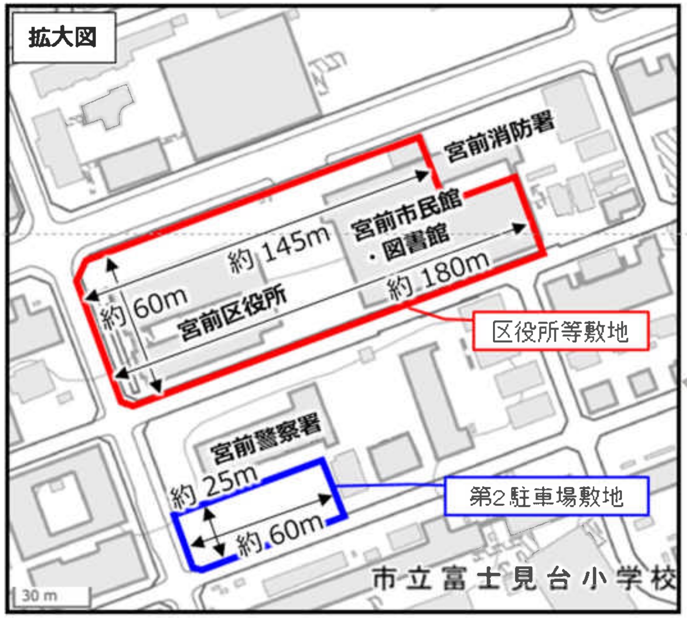
資料：「令和6年町丁別世帯数・人口　9月末日現在」をもとに作成

当該地の概況

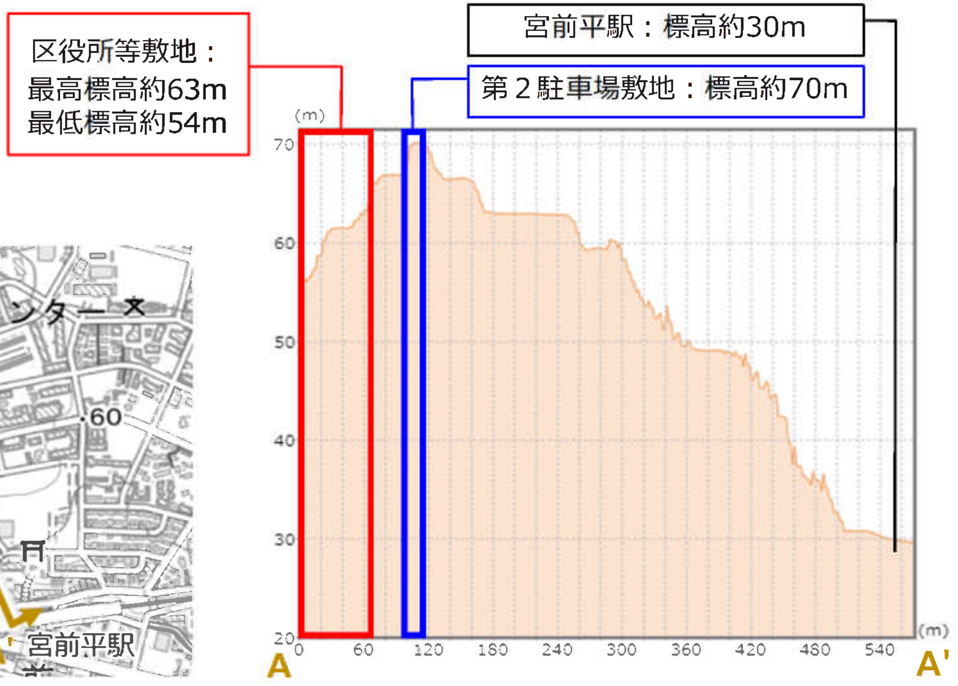
（３）当該地の概況

①敷地の状況

- 当該敷地は２つに分かれており、各敷地の間には、区画道路（幅員６ｍ）と宮前警察署が存在しています。
- 周辺は起伏があり、第２駐車場敷地が頂点で標高約70mに位置し、第２駐車場敷地と区役所等敷地には高低差があります（最大約16m）。
  また、区役所等敷地自体も約10mの高低差があります。
- 区役所等敷地は最寄駅である宮前平駅から徒歩10分程度、高低差は約30mの場所に位置しています。



名称	建築物	敷地面積
区役所等敷地	区役所	5,433㎡
	市民館・図書館	4,049㎡
第２駐車場敷地	―	1,436㎡



図表：敷地状況と駅からの標高断面図

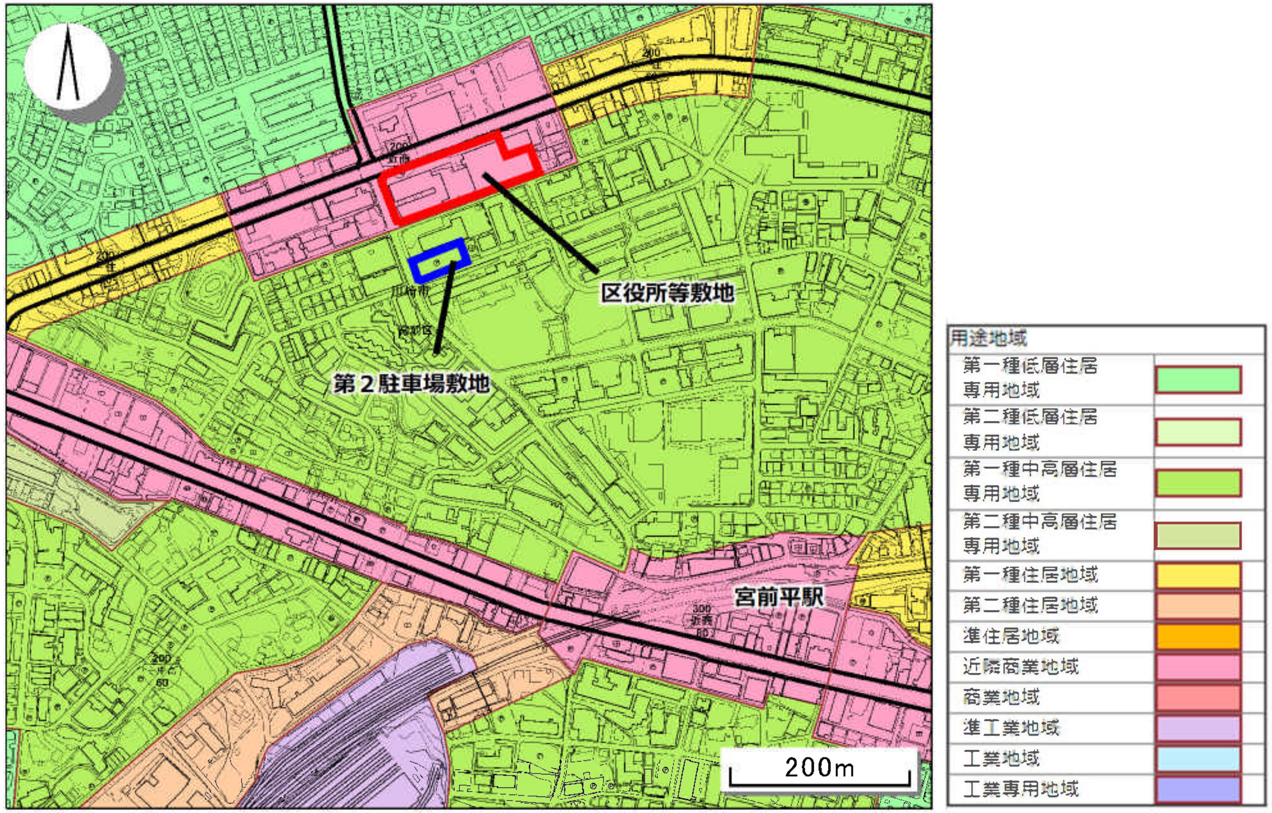
出典：地理院タイルを加工して作成

当該地の概況

②敷地における地域地区等

- 区役所等の建物がある敷地は近隣商業地域となっており、主に住宅や店舗など、住民が日常的な生活をするための地域として指定されています。
- 区役所第２駐車場は第１種中高層住居専用地域となっており、中高層住宅のための地域ですが、病院や大学のほか、一定の規模のお店を建てることは可能です。

名称	地域地区	建ぺい率 容積率
区役所等敷地	近隣商業地域 第３種高度地区（20m）	80% 200%
第２駐車場敷地	第１種中高層住居専用地域 第２種高度地区（15m）	60% 200%



図表：地域地区

資料：都市計画決定データ（令和６年10月時点）を加工して作成

«用途地域» 土地の使い方のルール	«建ぺい率※» 敷地の使い方	«容積率※» 建物の大きさ	その他の主なルール
近隣商業地域 まわりの住民が**日用品の買物などをするための地域**です。 住宅や店舗のほかに小規模の工場も建てられます。	**８０%** 建物80% 敷地100% **敷地の８割まで**建物が占めることが可能です。	**２００%** 3階40% 2階80% 1階80% 敷地100% **敷地の２倍まで**の大きさの建物（各階の床面積の合計）を建てられます。	**第３種高度地区** **最高高さ** **２０m** **２０m以下**の高さの建物を建てることができる地区です。 概ね 住宅なら７階、 事務所なら５階
第一種中高層住居専用地域 **中高層住宅のための地域**です。 病院、大学、500m²までの一定のお店などが建てられます。	**６０%** 建物60% 敷地100% **敷地の６割まで**建物が占めることが可能です。	**２００%** 上記と同じ 概ね 住宅なら５階、 事務所なら４階	**第２種高度地区** **最高高さ** **１５m** **１５m以下**の高さの建物を建てることができる地区です。

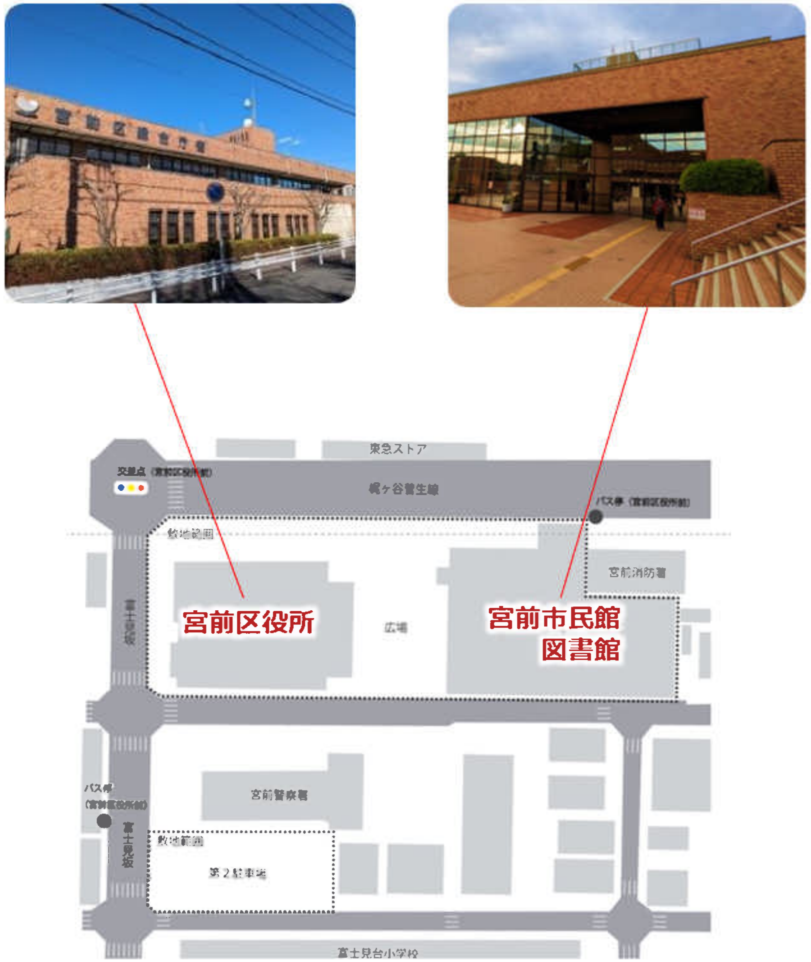
図表：地域地区等の主なルール

資料：「かながわの都市計画のあらまし（令和２年度）」をもとに作成

当該地の概況

③建築物の状況

- 現在の区役所、市民館・図書館とも建物は現時点で築40年以上が経過しており、鷺沼駅周辺への移転時には区役所は築53年、市民館・図書館は築47年を迎える見込みとなっています。



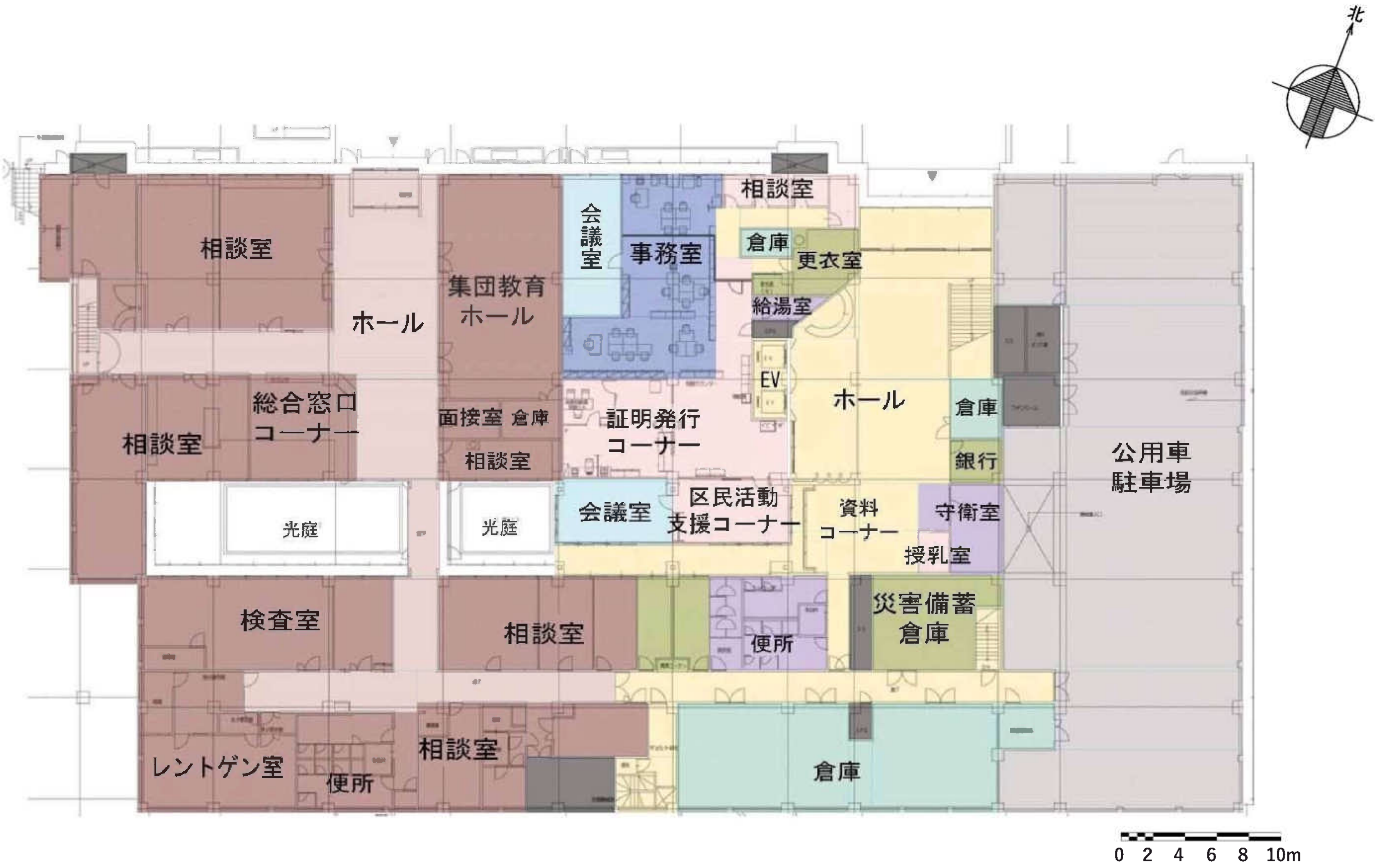
図表：各建物の状況

	宮前区役所	宮前市民館・図書館
建築年月	昭和57(1982)年6月	昭和59(1984)年11月
築年数	**築42年** （令和６年11月現在）	**築40年** （令和６年11月現在）
構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
階数	地下1階、地上4階、 棟屋1階	地下1階、地上4階、 棟屋1階
敷地面積	5,433.32㎡	4,049.48㎡
延床面積	7,972.02㎡	8,863㎡（地下駐車場含む） うち、市民館5,556㎡ 図書館1,908㎡
耐震性	**あり** （2012年3月に耐震補強済）	**あり** （新耐震基準で建築）
駐車台数	来客用：98台 （区役所18台、市民館・図書館38台、第２駐車場42台） 公務用：28台 （区役所23台、市民館・図書館５台）	
駐輪台数（バイク）	来客用：80台　（区役所・市民館・図書館） 公務用：10台　（区役所）	
駐輪台数（自転車）	来客用：100台　（区役所・市民館・図書館） 公務用：40台　（区役所）	

出典：鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針

当該地の概況

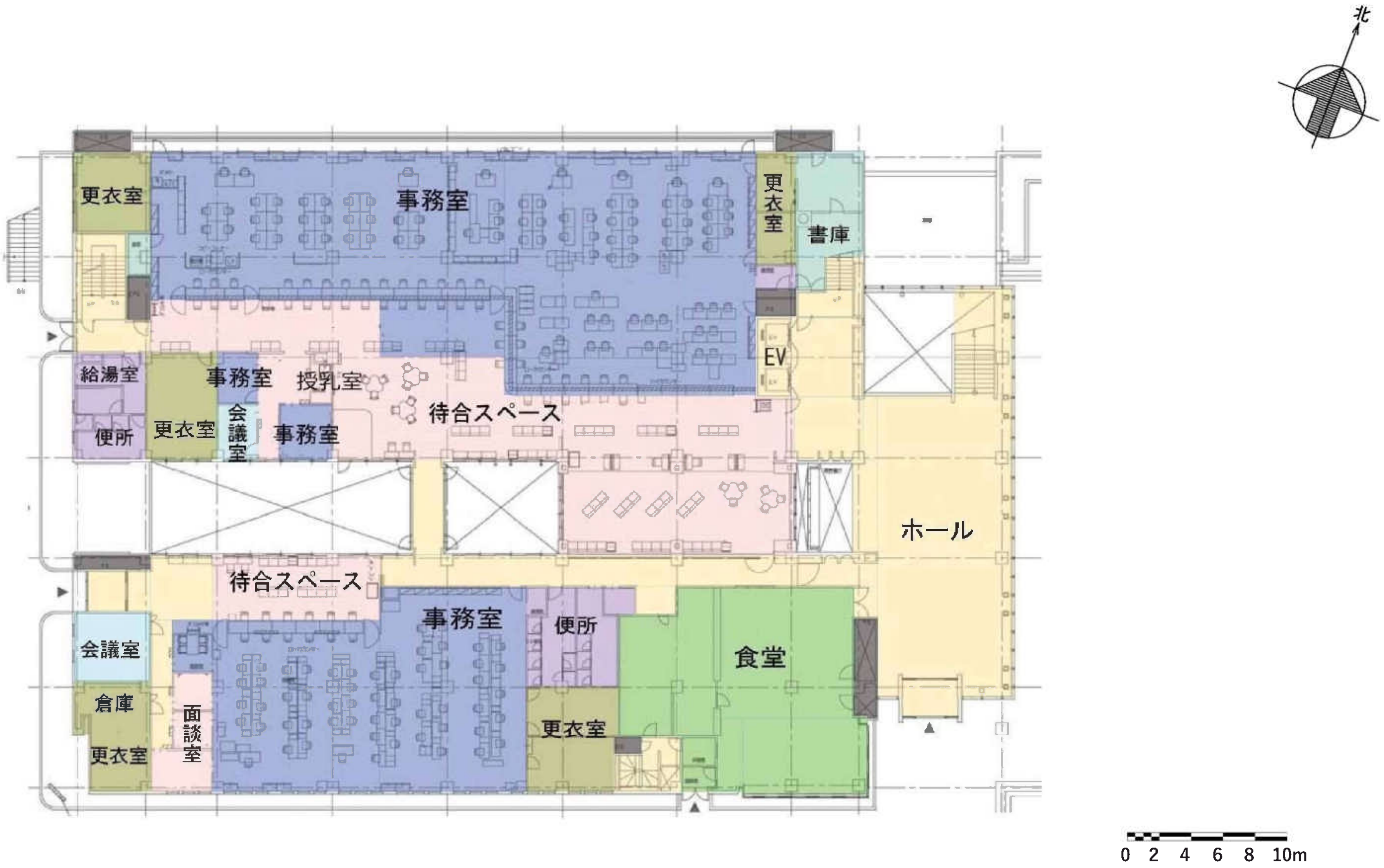
区役所１階平面図



出典：鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針

当該地の概況

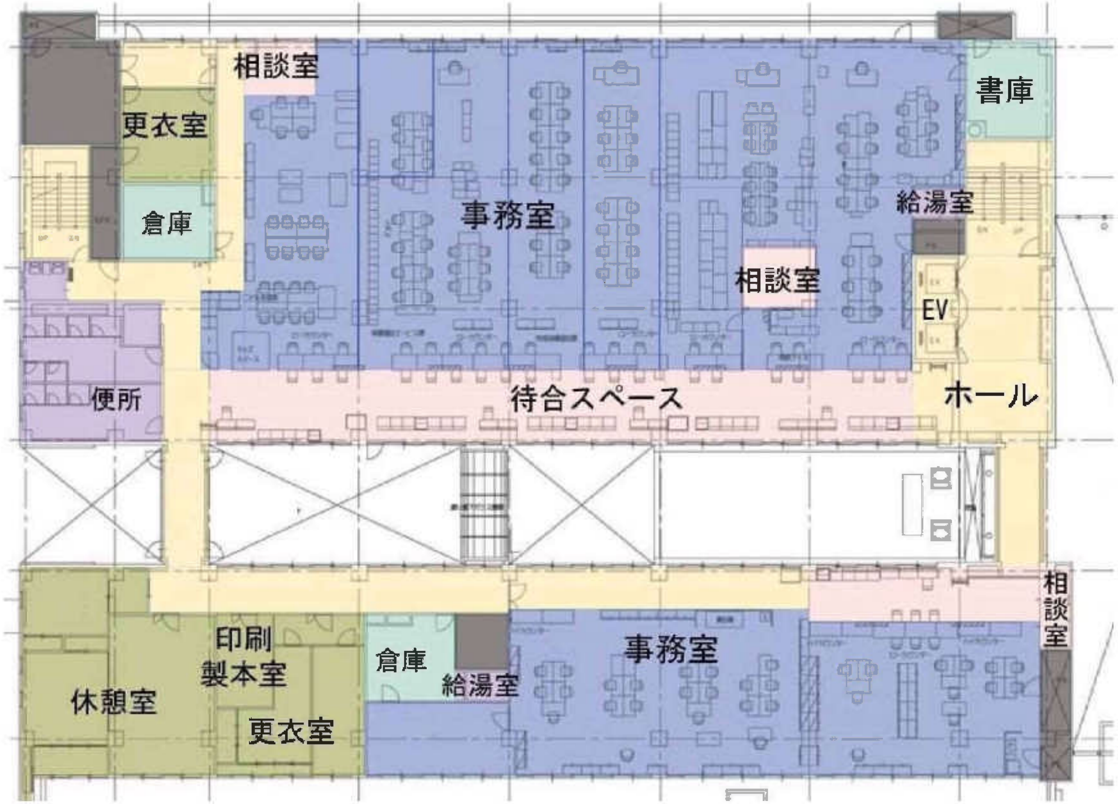
区役所２階平面図

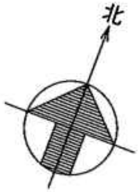


出典：鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針

当該地の概況

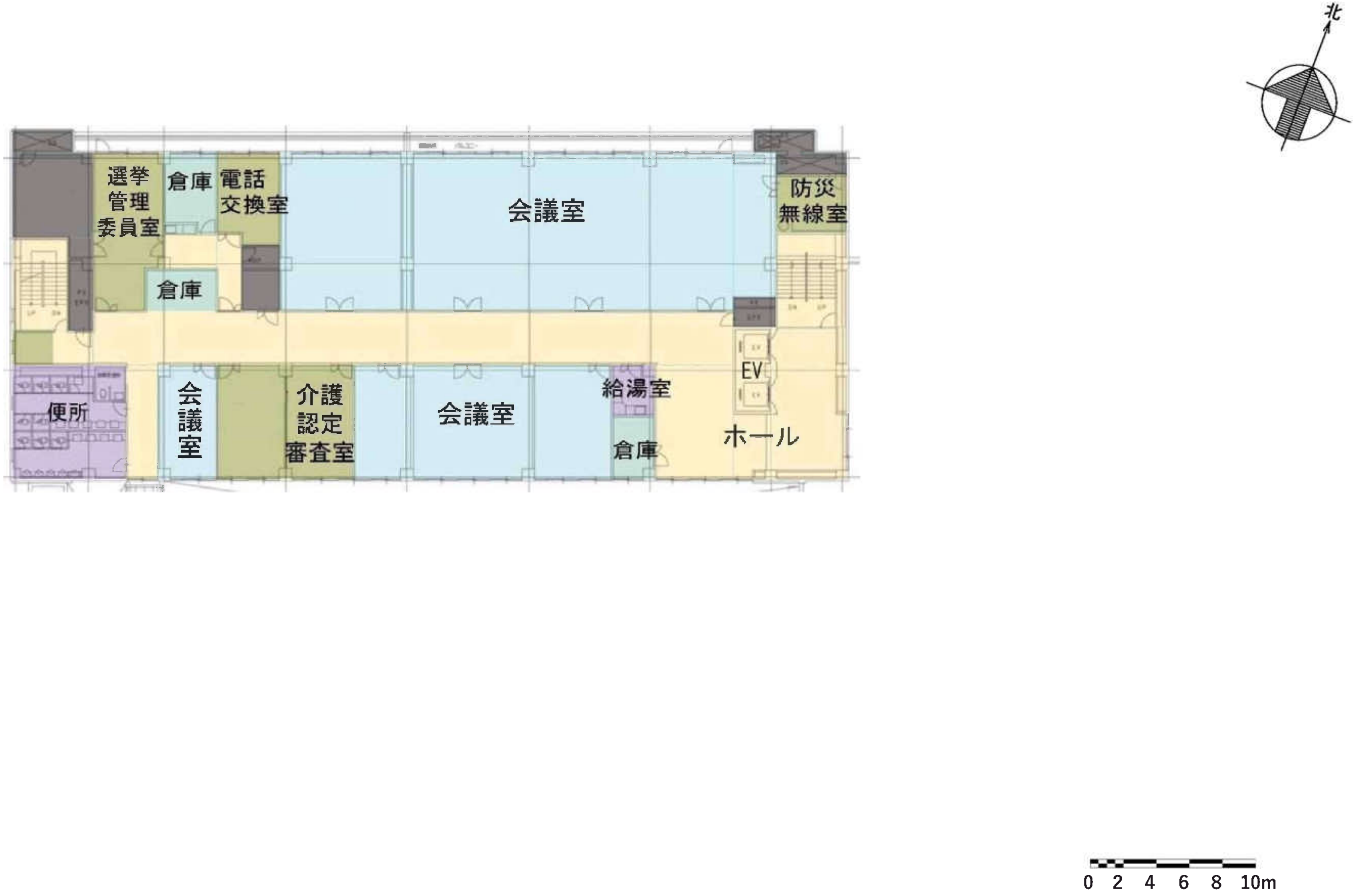
区役所３階平面図





出典：鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針

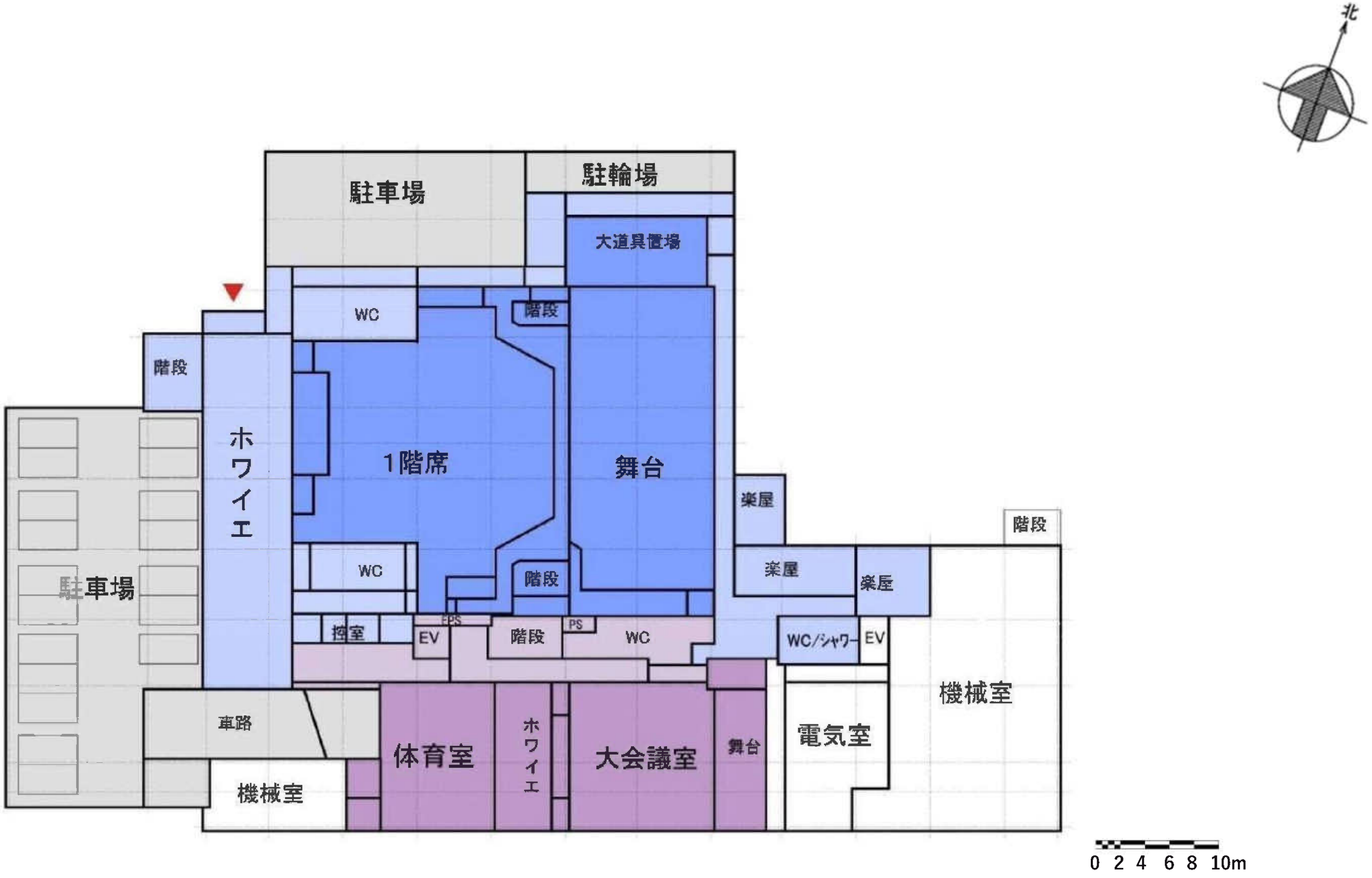
区役所４階平面図



出典：鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針

当該地の概況

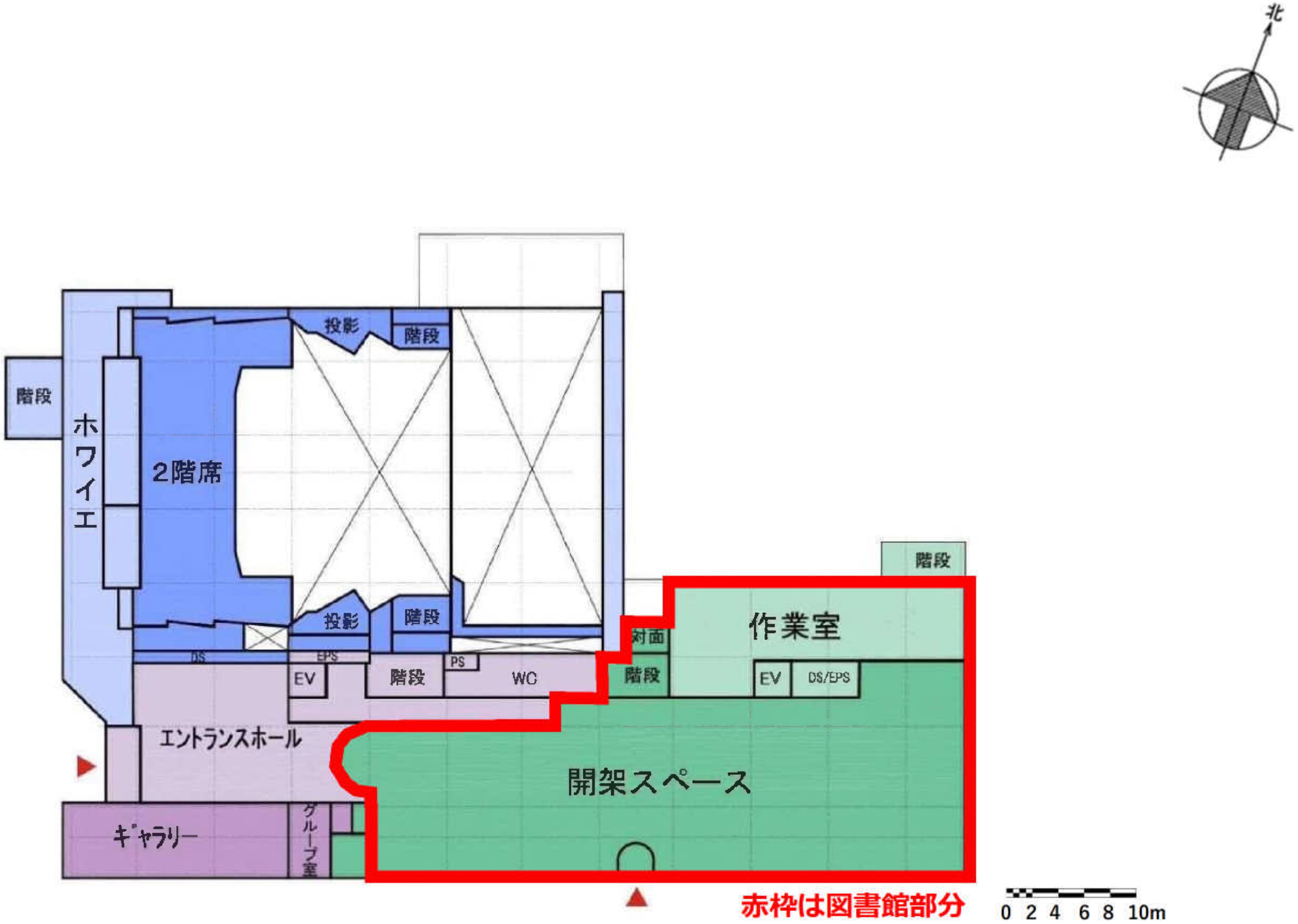
市民館・図書館１階平面図



出典：鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針

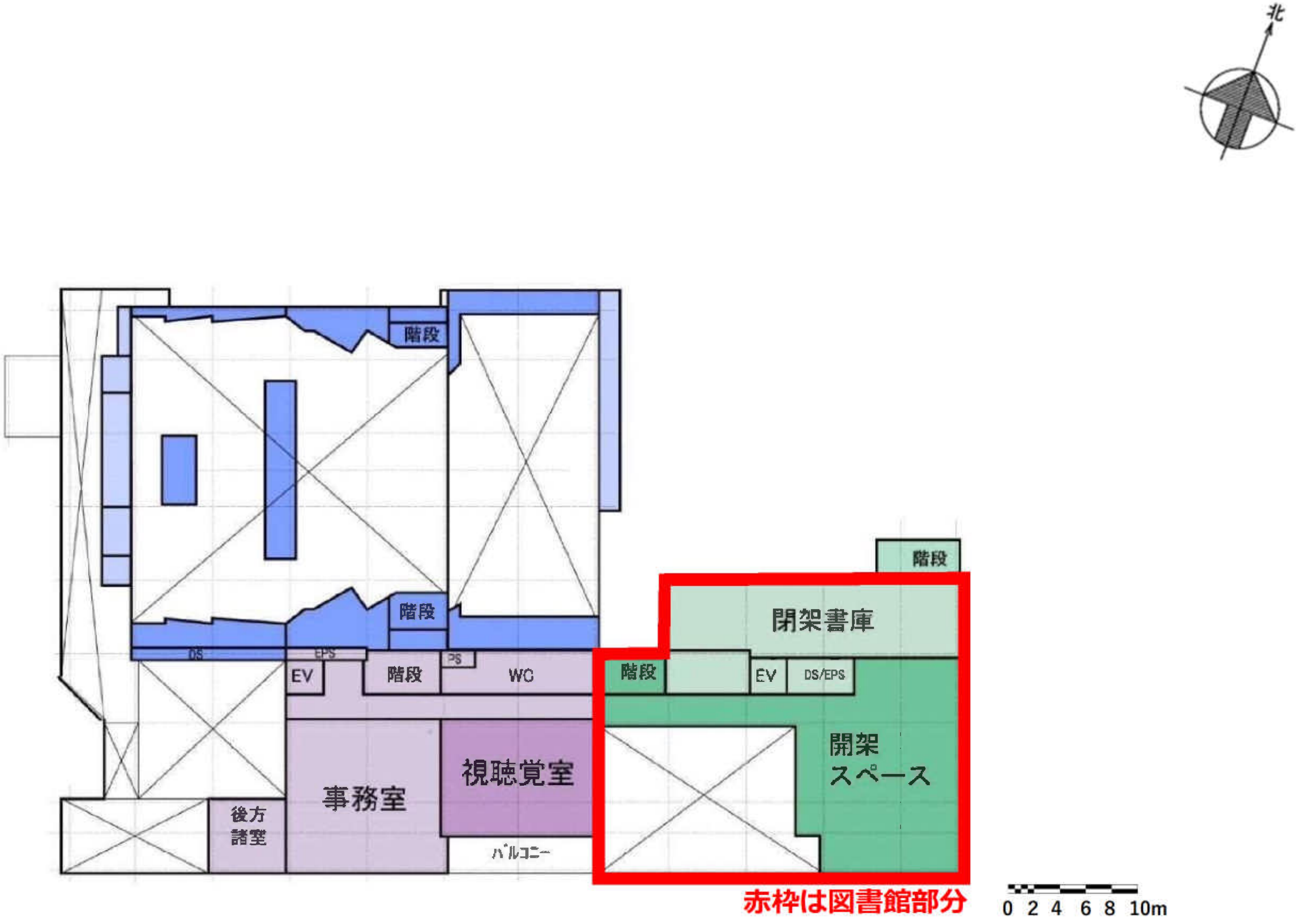
当該地の概況

市民館・図書館２階平面図



出典：鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針

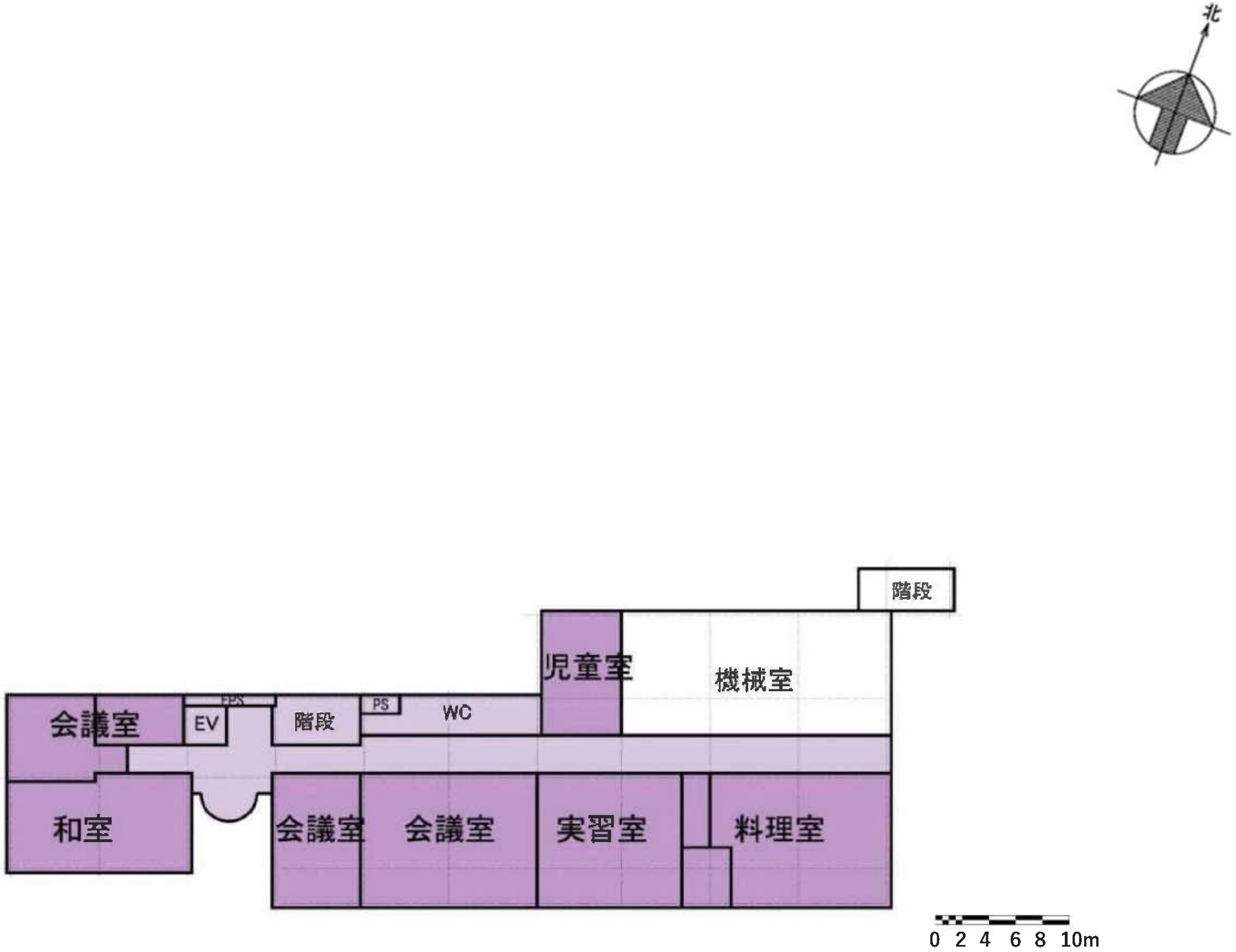
市民館・図書館３階平面図



赤枠は図書館部分

出典：鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針

市民館・図書館４階平面図



出典：鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針

区民意識アンケート調査

1　調査の目的

- 宮前区役所・市民館・図書館については、民間事業者による再開発の機会を捉え、鷺沼駅周辺への移転を予定しています。
- 区役所等が鷺沼駅周辺へ移転した後、現在の施設や用地がある場所を地域課題の解決や魅力ある地域づくりに向けて活用するため、市民参加による検討の一つとして、区民の皆さまの御意見やニーズを幅広く把握することを目的に、アンケート調査を実施しました。この結果は、ワークショップや団体ヒアリングなど、今後の市民意見聴取等に活用していきます。

2　調査の概要

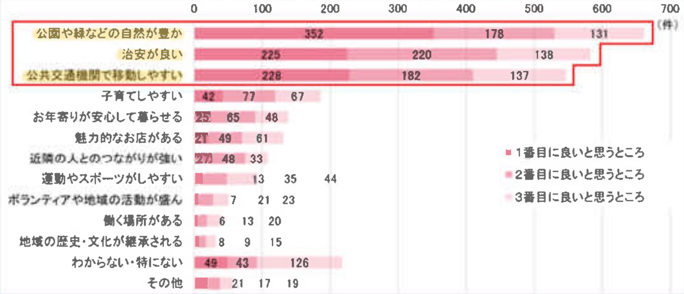
（１）調査対象	満10歳以上の宮前区内在住者2,000人
（２）標本抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
（３）調査方法	郵送によるアンケート調査（回答方法は、郵送回答とインターネット回答を併用）
（４）調査期間	令和4（2022）年6月1日（水）～7月4日（月）
（５）有効回収数	1,038件（有効回収率51.9%）

3　主な調査結果

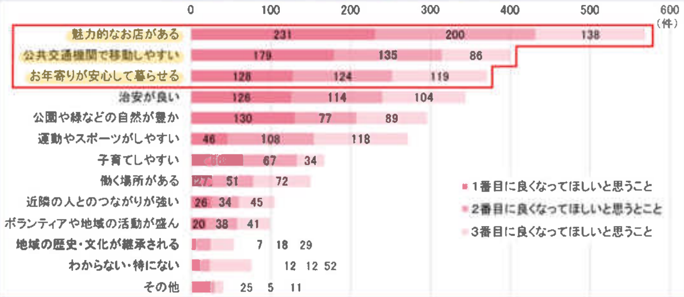
（１）お住いの周辺地域の現在と将来について　【問１・問２】

- 自宅周辺の地域について、現在のよいところは、「公園や緑などの自然が豊か」、「治安が良い」、「公共交通機関で移動しやすい」が多い。
- **自宅周辺の地域について、将来よくなってほしいことは、「魅力的なお店がある」、「公共交通機関で移動しやすい」、「お年寄りが安心して暮らせる」が多い。**

<現在>　自宅周辺がよいと思うところ



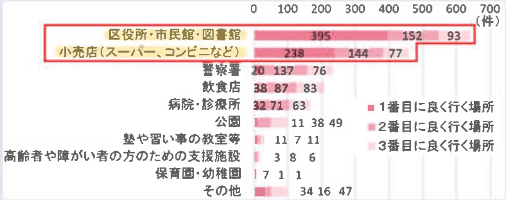
<将来>　自宅周辺がよくなってほしいこと



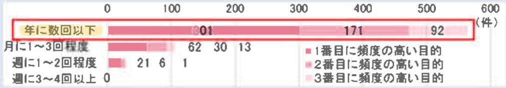
（２）現在の区役所等との関わりについて　【問４・問５】

- 現在の区役所等の周辺で行く場所については、「区役所・市民館・図書館」が最も多く、次いで「スーパー・コンビニなど」となっている。
- 区役所等に行く目的は、「手続きや届出」が多く、次いで「図書等を借りる」となっている。行く頻度は、「年に数回以下」が多い。

区役所周辺でよく行く場所



区役所・市民館・図書館に行く頻度



区役所・市民館・図書館に行く目的

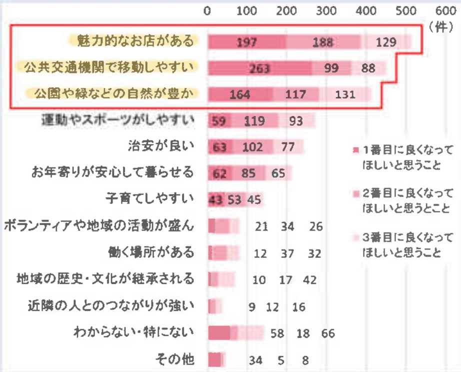
（３）将来、区役所等のある周辺地域がよくなってほしいこと　【問７】

- **区役所等の周辺が将来よくなってほしいと思うこと**については、**「魅力的なお店がある」や「公共交通機関で移動しやすい」、「公園や緑などの自然が豊か」を望む意見が多い。**
- 年代別では、全ての年代で「公共交通機関で移動しやすい」を望む割合が1番目もしくは２番目に高い。**10代から50代では「魅力的なお店がある」を望む**割合が２番以内と高く、**10代と20代、60代以上では「公園や緑などの自然が豊か」を望む割合が２番以内と高くなっている。**
- 地域別では、現区役所等の周辺地域で「魅力的なお店がある」の割合が高く、周辺地域外で「公共交通機関で移動しやすい」が高い。

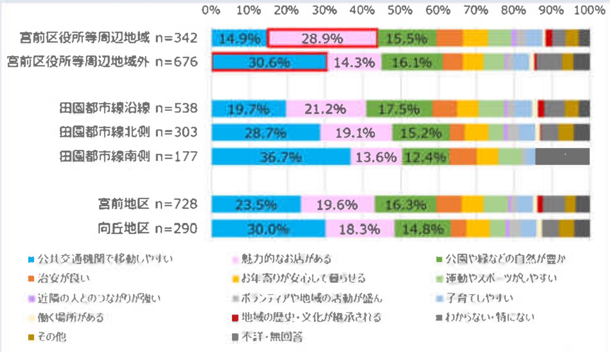
【年代別ＴＯＰ５】　１番目によくなってほしいこと

	10歳代 n=84	20歳代 n=67	30歳代 n=121	40歳代 n=180	50歳代 n=219	60歳代 n=146	70歳代 n=123	80歳以上 n=81
1位	魅力的なお店がある 22.6%	公共交通機関で移動しやすい 28.4%	魅力的なお店がある 29.8%	魅力的なお店がある 28.3%	公共交通機関で移動しやすい 26.9%	公共交通機関で移動しやすい 26.0%	公共交通機関で移動しやすい 24.4%	公園や緑などの自然が豊か 24.7%
2位	自然が豊か / 移動しやすい 17.9%	魅力的なお店 / 自然が豊か / 治安がよい 11.9%	公共交通機関で移動しやすい 27.3%	公共交通機関で移動しやすい 27.2%	魅力的なお店がある 21.9%	公園や緑などの自然が豊か 24.7%	公園や緑などの自然が豊か 18.7%	公共交通機関で移動しやすい 22.2%
3位			子育てしやすい 11.6%	公園や緑などの自然が豊か 10.6%	公園や緑などの自然が豊か 12.8%	お年寄りが安心 / 魅力的なお店 9.6%	お年寄りが安心して暮らせる 14.6%	お年寄りが安心して暮らせる 14.8%
4位	お年寄りが安心して暮らせる 8.3%		公園や緑などの自然が豊か 10.7%	運動やスポーツがしやすい 8.9%	治安がよい 9.1%		魅力的なお店がある 11.4%	魅力的なお店がある 7.4%
5位	運動やスポーツがしやすい 7.1%	子育てしやすい 9.0%	運動やスポーツがしやすい 5.0%	治安がよい / 子育てしやすい 5.6%	運動やスポーツがしやすい 5.9%	治安がよい / 子育てしやすい 3.4%	ボランティアや地域活動が盛ん 4.9%	治安がよい 4.9%

区役所等の周辺がよくなってほしいこと



【地域別比較】　１番目によくなってほしいこと



※地区分けの考え方は、次のページを参照してください

出典：現宮前区役所等施設・用地の活用に向けた区民意識アンケートの調査結果について　【概要版】

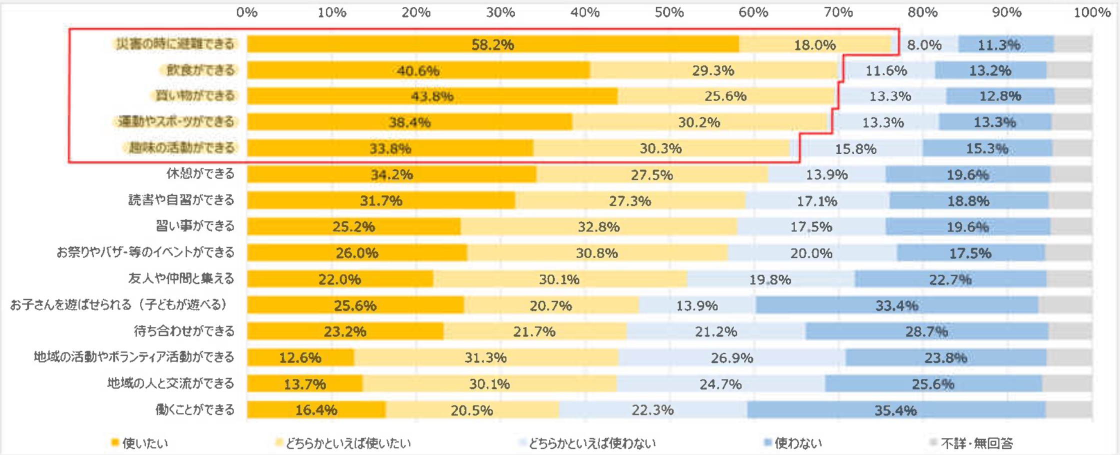
区民意識アンケート調査

（４）移転後の現在の区役所等の施設・用地をどのように使いたいか　【問８】

※ 問８は、15項目（機能）それぞれに対して、「使いたい」から「使わない」までを選んでいただきました。

- **区役所等が移転した後の現在の施設・用地の使いたい・どちらかといえば使いたいことについては、「災害時に避難できる」を望む割合が１番高く、次いで「飲食ができる」、「買い物ができる」、「運動やスポーツができる」、「趣味の活動ができる」の順に、望む割合が高くなっている。**
- 年代別では、**「災害時に避難できる」が30代・40代を除き、１番高い割合となっている**。また、**「飲食ができる」も70代以下の世代全体で高い割合**となっている。**60代以下においては、「運動やスポーツができる」の割合も高く、特に、30代・40代では１番高い割合**となっている。「買い物ができる」と「趣味の活動ができる」は、概ねどの世代においても３番目から５番目の割合となっている。
  10代・20代では、「読書や自習ができる」が３、４番目の割合に、**60代以上では、「休憩ができる」が２番目から４番目の割合**となっている。
- 地域別では、傾向に大きな差はないが、区役所等の周辺地域に住む方のほうが、現施設・用地を使用したいと考える割合が高い。

（全年齢・全地域）　現在の区役所等の施設・用地の使いたいこと



（※参考）クロス集計における地区分けについて

アンケート回答者の居住地を次の３つの地区分けをし、それぞれの区分において、アンケート結果の地域別の分析を行いました。

①区役所等の周辺と周辺外の比較

周辺地域：
区役所等から概ね徒歩15分の範囲にある町

②田園都市線の沿線・北側・南側の比較

沿線地域：
田園都市線の駅から概ね徒歩15分の範囲にある町

③宮前地区・向丘地区の比較

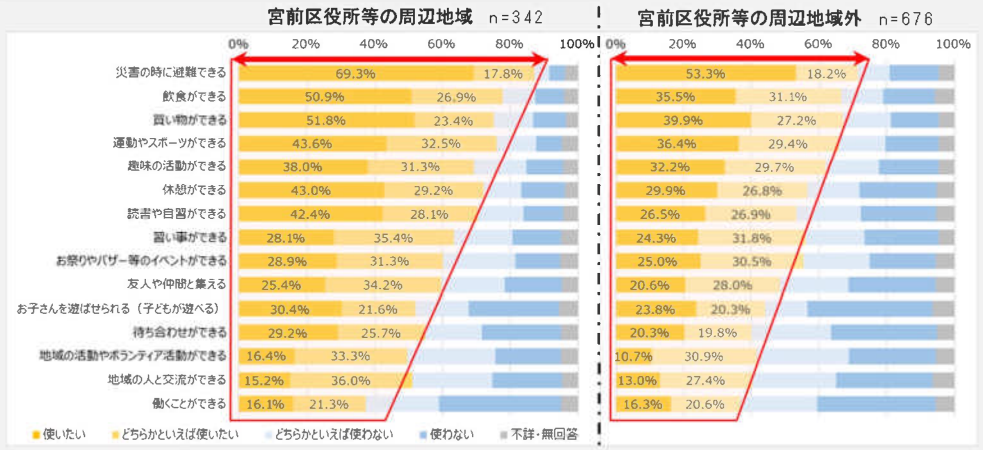
◉ 現宮前区役所・市民館・図書館

（年代別比較）　現在の区役所等の施設・用地の使いたいこと

【年代別ＴＯＰ５】「使いたい」と「どちらかと言えば使いたい」の割合の高い項目

	10歳代 n=84	20歳代 n=67	30歳代 n=121	40歳代 n=180	50歳代 n=219	60歳代 n=146	70歳代 n=123	80歳以上 n=81
1位	災害時に避難できる 88.1%	災害時に避難できる 91.0%	運動やスポーツ 飲食できる 84.3%	運動やスポーツができる 80.0%	災害時に避難できる 77.6%	災害時に避難できる 76.0%	災害時に避難できる 67.5%	災害時に避難できる 63.0%
2位	飲食できる 84.5%	運動やスポーツができる 74.6%		買い物ができる 79.4%	買い物ができる 77.2%	運動やスポーツができる 66.4%	飲食できる 買物ができる 休憩ができる 60.2%	休憩ができる 45.7%
3位	運動やスポーツ 買物ができる 読書や自習 82.1%	趣味の活動ができる 73.1%	災害時に避難できる 81.8%	飲食できる 78.9%	飲食できる 73.1%	飲食できる 65.8%		趣味の活動ができる 43.2%
4位		読書や自習 休憩ができる 71.6%	買い物ができる 77.7%	災害時に避難できる 75.6%	運動やスポーツができる 71.2%	休憩ができる 63.7%		お祭りやバザー等のイベントができる 39.5%
5位			子どもが遊べる 71.9%	趣味の活動ができる 70.6%	趣味の活動ができる 68.5%	趣味の活動 買い物ができる 62.3%	趣味の活動ができる 54.5%	買い物ができる 38.3%

（地域別比較）　現在の区役所等の施設・用地の使いたいこと



出典：現宮前区役所等施設・用地の活用に向けた区民意識アンケートの調査結果について　【概要版】

宮 前 区 の ミ ラ イ づ く り プ ロ ジ ェ ク ト

＼みんなで考える／

現 宮前区役所等施設・用地の活用に向けた

市民検討ワークショップについて

（結果概要）

出典：市民検討ワークショップについて（結果概要）

市民検討ワークショップ

宮前区のミライづくりプロジェクト　　現宮前区役所・市民館・図書館の施設・用地の活用検討

市民検討ワークショップについて

(1)ワークショップの概要

●目的

様々な立場・年代の宮前区民の視点から、「宮前区全体と周辺エリアの将来を見据えた課題・ニーズの整理」を行い、「施設・用地の活用のアイデア」を出し合うことで、「（仮称）宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針（以下、活用基本方針）」の策定につなげる。

●開催概要

日付：令和５年11月12日（日）、12月16日（土）、
令和６年 2月 3日（土）、 3月 2日（土） の全４回

時間：13:30～16:30（各回同じ）

場所：宮前区役所４階大会議室（各回同じ）

●参加者の募集

・無作為抽出（20人程度）と公募（20人程度）を併用し、小学校５年生以上の宮前区民40人程度を募集。

●募集結果・参加者概要

募集結果：48名

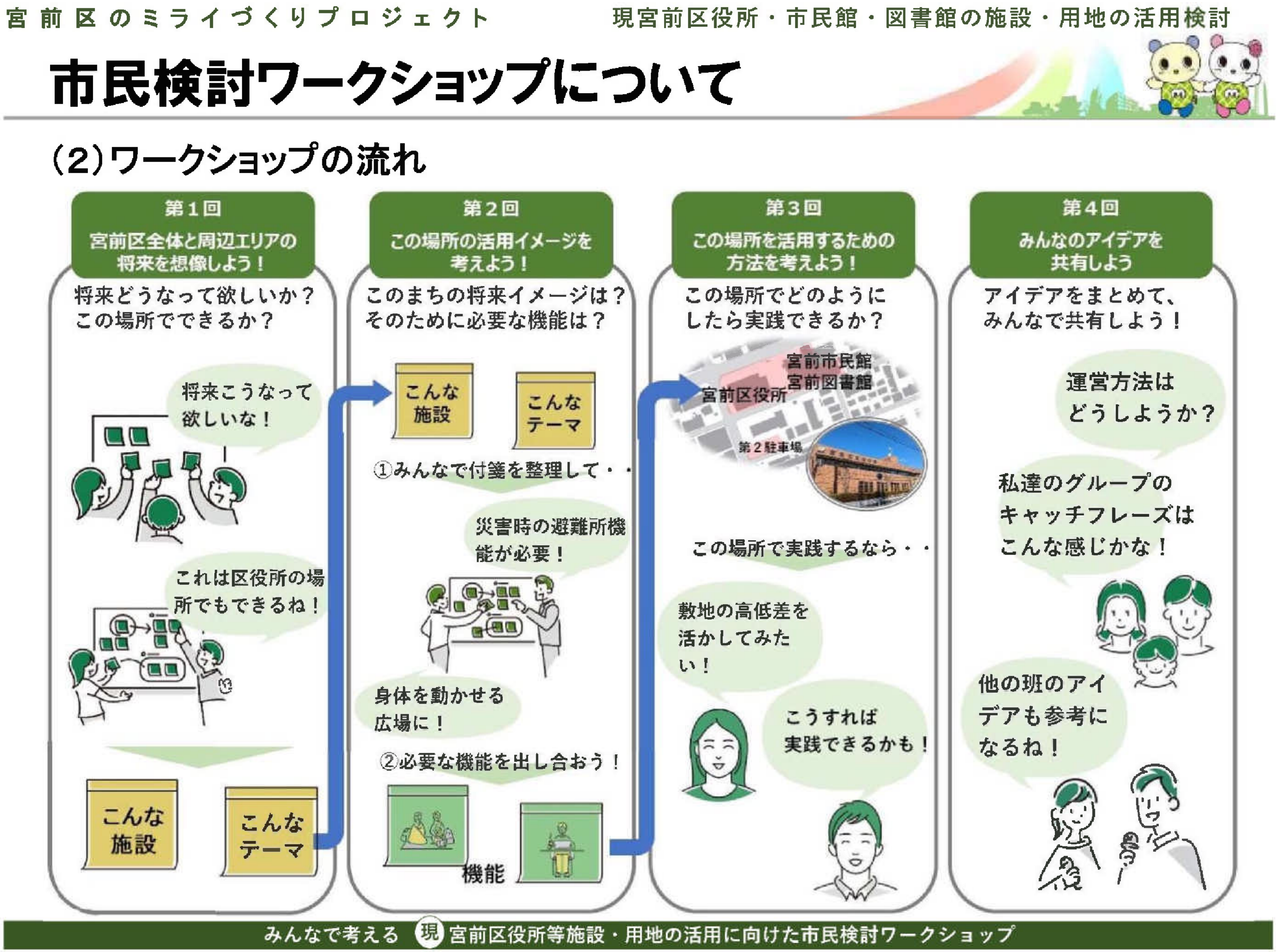
年齢構成：10歳代：11名、20～30歳代：9名、40～50歳代：15名、60歳～：13名

居住地：近隣の町内会のほか、区内各地区から参加

みんなで考える 現 宮前区役所等施設・用地の活用に向けた市民検討ワークショップ

出典：市民検討ワークショップについて（結果概要）

市民検討ワークショップ



出典：市民検討ワークショップについて（結果概要）

宮前区のミライづくりプロジェクト　　現宮前区役所・市民館・図書館の施設・用地の活用検討

第4回の結果概要

A班

キャッチフレーズ

ここなら"だれでも"○○できる!!
ココナラ

こだわりポイント

- インクルーシブ、市民参加でつくり続ける
- 高齢者も赤ちゃんも障がい児も大人も小学生も料理も音楽もゲームもボール遊びも集まりつながる
- 鷺沼整備計画と整合！
- 段階的に整備、流れが途絶えない

主なキーワード

- 遊ぶ　・運動　・防災

主な機能のアイデア

- たまり場、インクルーシブの屋内広場
- 富士山の見える展望台
- 図書館、郷土資料館
- 屋内施設、ダンス、楽器を鳴らせる会議室
- 屋外の広場、アスレチック遊具

主な運営のアイデア

- 民間企業が様々な企画、景丘の家（渋谷区の子どもと食をテーマにした地域の居場所）のイメージ

出典：市民検討ワークショップについて（結果概要）

宮前区のミライづくりプロジェクト　　現宮前区役所・市民館・図書館の施設・用地の活用検討

第4回の結果概要

B班

キャッチフレーズ　MIYAMAE共和国（Republic）

こだわりポイント
- 地域通貨Ⓜ発行（応援券）　皆で国を回す
- 子どもから外国人まで　助け合いシェア♡

主なキーワード
- 子ども　・多様性　・文化、レジャー

主な機能のアイデア
- 子どもや障がい者が働けるレストラン
- イベントを通じて外国人と交流
- 休日保育、発達支援ができるキッズルーム、子どもが室内で運動できる（遊べる）場所、避難場所、色々なスポーツや部活ができる場所

主な運営のアイデア
- 子どもだけで売り買いするフリマ
- まちの人が寺子屋の先生に

みんなで考える 現 宮前区役所等施設・用地の活用に向けた市民検討ワークショップ

出典：市民検討ワークショップについて（結果概要）

宮前区のミライづくりプロジェクト　　現宮前区役所・市民館・図書館の施設・用地の活用検討

第4回の結果概要

C班

キャッチフレーズ	**やってみよう！試してみよう！来てみよう！**
こだわりポイント	・誰でも自由に集まることができる！ ・富士山が見えるビューポイントを楽しめる建物がある ・今の名残りがある場所 ・体を動かす、運動ができる ・川崎市唯一のケーブルカー
主なキーワード	・やりたいことが集まる場　・人と人が集まる場
主な機能のアイデア	・斜面を活かす、ロケットハウス等のユーモアのある遊具がある公園、芝生の公園 ・ホール、広場（映画、ライブ、発表会） ・景色を楽しめる場所
主な運営のアイデア	・坂を上るケーブルカー ・宮前平駅からのミニバス、ライドシェア

みんなで考える 現 宮前区役所等施設・用地の活用に向けた市民検討ワークショップ

出典：市民検討ワークショップについて（結果概要）

宮前区のミライづくりプロジェクト　　現宮前区役所・市民館・図書館の施設・用地の活用検討

第4回の結果概要

D班

キャッチフレーズ

昔も今も未来も宮前らしく
～子供が育まれ、子どもが育む町～

こだわりポイント

- ・スーパー防災拠点
- ・子どもも大人も学べる場所
- ・子どもがオンとオフの切り替えができる場所
- ・緑と共存した別荘地のような場所
- ・とにかく映えるオシャレ空間
- ・（子ども中心の）宮前村

主なキーワード

・子ども(遊び)　・宮前らしさ　・文教、教育

主な機能のアイデア

- ・食で交わるスペース、屋上には緑を楽しめるエディブルガーデン
- ・防災公園（通常：アウトドア・公園、災害時：避難・支援）
- ・防災センター（通常：病院、災害時：防災機能）
- ・雨でも楽しめる場所

主な運営のアイデア

・地元住民と協力、ロスを出さないシステム作り

出典：市民検討ワークショップについて（結果概要）

市民検討ワークショップ

宮前区のミライづくりプロジェクト　　現宮前区役所・市民館・図書館の施設・用地の活用検討

第4回の結果概要

E班

キャッチフレーズ　宮前区民のお茶の間

こだわりポイント
- みんなで長持ち（市民参加でまちを長持ちさせる）
- ミヤマエは文教地区/サギヌマは商業地区
- みんなの広場
- 行けば誰かがいる
- 地域の賑わい

主なキーワード
- 子ども ・学習 ・交流

主な機能のアイデア
- 情報交流の場（屋外、屋内、ステージ、広場）
- 仕事をしながら子どもを預けられる場所
- 富士山の見えるキャンプ場

主な運営のアイデア
- カフェは地域が運営、市民をまき込み掃除
- 都市農園で収益

みんなで考える 現 宮前区役所等施設・用地の活用に向けた市民検討ワークショップ

出典：市民検討ワークショップについて（結果概要）

宮前区のミライづくりプロジェクト　　現宮前区役所・市民館・図書館の施設・用地の活用検討

第4回の結果概要

F班

キャッチフレーズ

一石三挑！
～元気！安心！Enjoy！～

こだわりポイント

- 三種の神器「健康、防災、文化」
- 既存施設のリノベーション、リニューアル
- 継承と発展
- チャレンジできる場所

主なキーワード

- 人にやさしい
- スポーツ、運動
- 文化、芸術
- チャレンジ

主な機能のアイデア

- みんなが気軽に使える屋内広場、現施設の活用
- 子どもも大人もリラックスできる空間
- 区民祭などの区のイベントができる場所
- かまどベンチがある広場、野外音楽ができる場所
- プール（学校の授業や区民が気軽に使える）

主な運営のアイデア

- 既存施設を活かしながら市のシンボルに
- 第２駐車場を駐車場兼イベントスペースとして活用

出典：市民検討ワークショップについて（結果概要）

宮 前 区 のミライづくりプロジェクト　　現宮前区役所・市民館・図書館の施設・用地の活用検討

総評

今回のワークショップのアドバイザーをお願いした
讃岐先生からの総評

　このワークショップの特徴として、この場所の『**敷地・特性を生かす**』アイデアが出てきたこと、次に『**段階的に、実験しながら**』といったキーワードが出てきたこと、そしてこのまちにふさわしい機能を考えたときに『**必ずしも既存建物にこだわらない**』広場といった屋外空間のアイデアが共通して出てきたことが挙げられます。

　社会状況・周辺状況が刻々と変化していく中で、その時点でこの場所をどう活用していくか、市民との対話を含めた『**時間軸のデザイン**』がこれから大切になります。

　既に宮前区役所の広場で行われているイベントは、新しい対話の形の一つだと思います。こうした対話の場に市民の皆さんが積極的に提案・参画することも、新しい宮前区を『**実践・実験**』的に作り上げていく上で大切になると思います。

アドバイザー
讃岐 亮
東京都立大学都市環境学部
建築学科助教

（第１回ワークショップの様子）

（第４回ワークショップの様子）

出典：市民検討ワークショップについて（結果概要）

宮 前 区 のミライづくりプロジェクト　　現宮前区役所・市民館・図書館の施設・用地の活用検討

第4回の様子

参加者同士で意見交換を行う様子

みんなで考える 現 宮前区役所等施設・用地の活用に向けた市民検討ワークショップ

出典：市民検討ワークショップについて（結果概要）

市民検討ワークショップ

宮前区のミライづくりプロジェクト　現宮前区役所・市民館・図書館の施設・用地の活用検討

第4回の様子

集合写真

みんなで考える 現 宮前区役所等施設・用地の活用に向けた市民検討ワークショップ

出典：市民検討ワークショップについて（結果概要）

市民検討ワークショップ

宮前区のミライづくりプロジェクト　現宮前区役所・市民館・図書館の施設・用地の活用検討

ワークショップ後の取組の主な流れ

活用基本方針の策定に向け、ワークショップの結果等を活かしながら、段階的に活用の考え方を取りまとめていきます。

令和6年度は、民間事業者へのヒアリング等を行いながら、この敷地の分析を深めることにより、地域課題やニーズを整理し、活用コンセプト案や導入機能のイメージ案など、活用に関する基本的な考え方を取りまとめる予定です。

令和６（2024）年度	令和７（2025）年度	令和８（2026）年度～
現施設・用地の活用に関する **基本的な考え方の策定** 活用基本方針の骨子として、現施設・用地の活用コンセプト案や導入機能のイメージ案、今後の進め方など	基本的な考え方を踏まえた **活用基本方針の策定** 現施設・用地の活用コンセプトや導入機能のイメージ、今後の取組など	活用基本方針に基づく **取組の推進** 民間事業者のノウハウの活用など、整備に向けた更なる検討を実施

※ 再開発事業や現区役所等の移転などの全体の取組スケジュールや、現宮前区役所等施設・用地を取り巻く環境の変化等を踏まえて、検討スケジュールを見直す可能性があります。

みんなで考える 現 宮前区役所等施設・用地の活用に向けた市民検討ワークショップ

出典：市民検討ワークショップについて（結果概要）